

第八十六回
帝國議會
貴族院

兵役法中改正法律案特別委員會會議事速記録第四號

(一一)

付託議案

○兵役法中改正法律案

○陸軍軍法會議法中改正法律案

○海軍軍法會議法中改正法律案

○現役青年學校職員俸給費國庫補助法案

昭和二十年一月二十五日(木曜日)午前十時十五分開會

○委員長(伯耆山本清君) ソレデハ只今カラ會議ヲ開キマス、昨日ニ引續キマシテ御質問ヲ願ヒマス

○内田重成君 私ハ昨日ノ質問ニ續キマス質問デアリマス、成ルベク簡單ニ致シマス、昨日國民學校教員ノ待遇上ノ問題トシマシテ御説明ヲ承ツテ、追追ニ國民學校教員ノ俸給面ノ待遇等ガ向上致シテ參リマスルコトニ付キマシテ、文部當局ハ至大ノ御盡力ヲ致サルル點ニ對シテ頗ル有難イコトニ存ジテ居ルノデアリマスルガ、此ノ點ニ付キマシテハ、隨テ得テ御望ムト云フ譯デアリマス、全ク初等、中等ノ教育ガ日本ノ國力ノ將來ニ鑑ミテ一番大切デアルト云フ點カラ、國民學校ノ教員ハ、他ノ官吏ト比較テ取ラズニ、全然獨立ノモノト考ヘテ、其ノ物質上ノ待遇モ身位上ノ待遇モ考ヘナケリヤイケンイモノダラウト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ是迄ノ政府ノ政策アタリガ、他ノ判任官等ノ物質上ノ待遇トカ云フヤウナモノ、又身位上ノ待遇ト云フヤウナモノト兎角比較シテノ研究ガ進メラレテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマスルガ、是ガ宜シクナイト云フ感情ヲ始終持ッテ居ルノデアリマス、ソレデ國民學校ノ教員アタリニ、一生涯ニ從事サセルト云フ爲ニハ、ドウシテモ定著性ヲ持タサナケレバナラヌノデ、其ノ爲ニハ自分ノ子供ノ教育位ハ、相當年齡ニ達スルナラバ出來ル位ニシテヤラナクチャイケナイと思フノデス、人ノ子ヲ教育シテ居ルノダカラ、況ヤ我ハ唯子孫ノ賢ナルヲ愛スト云フ觀念ハ、最モ強イノデアリマス、人ノ子ニ賢クナレ、立派ナ人ニナレト言フテ聽メテ居ルノダカラ、自分ノ子ガ親ノ言葉ヲ聽イテ、自分モ其ノ道ニ進ミタイト云フテ親ヲ責メルノハ無理カラヌコトデアルト私ハ思フ、一番苦勞スルノハ其ノ點デアル、縣ニ依ツテハ、今ノ互助會等デ、色々學資金ノ世話等ヲシテ居リマスルケレドモ、是ハナカノ物足りマセヌ、矢張り其ノ生活ノ餘力ヲ以ツテ子弟ノ教育スルダケノ餘裕アリヘテヤラナクチャナラヌト思ツテ居ルノデアリマスルガ、ソレガ一向ニ出來テ居ラス、國民學校教員ノ一番不遇ト致シテ居ルノハ此ノ點デアリス、之ニ多少ノ餘裕アリヘル爲ニ、昨日御話ノヤウニ、最上級ガ三千圓餘ニ相成リマシテモ、ソレハ一縣ニ極ク僅力、數ヘル程シカ、其ノ最後ノ所謂退職當時ニナル位ノモノダラウト思フ、全般ノ即チ平均率ガウント上ラナクチャ、是等ノ人ノ生活ヲ安定シテ終身國民教育ニ没頭スル譯ニハ參ラス、ソレデ昨日ノ御答辯ニ依ツテ、今日ニ於テナサル、待遇上ノ向上ノ點ハ私諒ト致シマスルガ、尙不満足ヲ免レナイ、ソレデ進ンデ一ツ大々的ニ御考慮ヲ下

サツテ、外ノモノトノ權衡ヲ全然外レタ待遇ヲナサル、コトヲ、是ハ意見ノヤウデアリマシテ濟ミマセヌガ、將來ノ御考究ヲ御言明ヲ願ヒタイと思フ、而シテ是ハ大藏當局ニハ強ク御要望ニ相成ツテ最モ當然ノタテ理ガ附クモノデアルト考ヘテ居ル、是ハ希望ト同時ニ、將來ノ御抱負ガ若シ尙御アリデアリマスルナラバ、承ツテ置キタイ、次ニ國民學校、青年學校ノ教員ノ身位上ノ待遇デアリマスルガ、身位上ノ待遇モ俸給上ノ待遇ニ付キマシテ述ベマシタト同様ニ、今日迄ノ身位上ノ待遇ハマダ不十分デアル、官等、勳章等モ外ノ普通ノ官吏程ニモ行ツテ居ラヌト思フノデアリマスルガ、ソレハ矢張り特別ニ考ヘラルベキノデアツテ、場合ニ依レバ、國民學校ノ功勞者、又優秀者ニ對シテハ勳任ヲ以テ待遇スル位ノ思ヒ切ツタ施設ヲ一ツナサルベキモノデナカラウカト云フコトヲ感ジテ居リマス、此ノ點ニ付テ御考ヲ承リタイ、ソレカラ、今一ツハ、之ニ關聯致シマスルガ、昨年ノ豫算委員會ニ於キマシテ文部當局ニ對シテ私ガ伺ツタ言葉ノ中ニ、中等學校長ノ勳任待遇ノ、又ハ勳任官ノ、今迄實行ガナイノデアルガ、是ハドウモ、外トノ權衡上カラ見テモ、又中等教育ノ重要性ニ鑑ミテモ、大イナル教育上ノ缺陷デアルト迄自分ハ考ヘテ居ル、私共ノ知ル人ノ中ニモ、中等學校長ニシテ帝國大學ヲ優秀卒業シテ、長ク地方ノ中等學校長ヲ勤メテ、別ニ榮利名達ノ考ヲ以テ彼此スル人デナイ、サウ云フ人ノ居ルニ

拘ラズ、何時迄モ高等官三等待遇ト云フコトニナツテ居ル、是等ハ矢張り其ノ學校ニ置イテ置イテ、少クトモ勳任位ニスル途ヲ拓カレタラ宜クハナイカ、ソレガ最モ適當デアルト思フ、誰モガサウ感ジテ居ルノデアリマス、ソレヨリ以下ト考ヘル人ガ勳任ニナツテ他ノ方ニ進級シテ行クトカ云フヤウナコトガアルノデアリマスガ、ソレハ學校其ノモノガ變ツテ專門學校等ニナラナケレバ、勳任ト云フコトニナラナイノデアル、ソレデハイケナイノデアツテ、矢張り中學校教育ヲ專心ニヤツテ行クト云フ人ヲ、長ク其ノ地位ニ、立派ナ人デアラナラバ置クト云フ方針デアラカレタ方ガ、ドウモ宜イヤウニ思フ、サウ云フコトヲ申上ゲテ、ソレニ付テハ文部當局ハ研究スルコト云フコトニナツテ居ツタ、ソレハ其後ドウ云フ風ニ相成ツテ居リマスカ、唯ソレ切リモウ話ハ進マヌデ、別ニ御研究ニモナツテ居ラスノデヤナイカ知ラント云フヤウナ氣分ヲ持ツノデアリマス、今迄ノ成行キヲ一ツ承ツテミタイと思ヒマス、其ノ兩點ダケヲ一ツ先ニ御話ヲ願ヒタイ

○政府委員(藤野憲君) 御答ヘ致シマス、昨日來特ニ國民學校教員ノ精神、又給與、其ノ他物ノ方面ニ於テ十分ノ優遇ヲ爲スベキコトニ付テ縷々御述ニナリ、只今モ亦段々御意見ヲモ拜承致シマシタ、先ヅ俸給其ノ他ノ給與ニ關シマシテハ、昨日概況ハ申上ゲマシテモ、是迄ノ優遇ヲ以テ事足レリト致シテ居ル譯デハゴザイマセヌ、將來更

ニ優遇ノ途ヲ講ズベク折角努力ヲ致ス考デゴザイマス、次ニ精神ノ方面ニ於テ、官等、敘勳其ノ他ニ付テ、他官ニ拘ラズ、思切ツテ優遇ノ途ヲ講ズベキデアアルマイカト云フ御意見デアリマス、御趣旨ニ於キマシテ全ク御同感ヲ申上ゲル次第デアリマス、此ノ際申上ゲテ置キタイコトハ、國民學校ノ校長或ハ訓導等ニ付キマシテハ、最近所謂委任待遇ノ員數ヲ相當ニ増加ヲ致シマシテ、校長ニ於テ約一萬三千四百名、教頭ニ於テ五千名、平訓導ニ於テ二千八名程度ノ委任ヲ待遇ヲ作ルコトニ致シマシタ、通ジテ二萬四百人ノ委任待遇ノ定員ヲ確保致シマシタ、之ニ依リマシテ出來ル限リノ優遇モ講ジ、又最高官等ハ從來四等デアリマシタモノヲ、只今デハ三等迄進ミ得ルコトニ實ハ致シタノデアリマス、サリナガラ是モ決シテ此ノ程度ヲ以テ満足ヲ致ス譯デモゴザイマセヌノデ、將來ニ於キマシテハ御示ノ如ク更ニ優遇ノ途ヲ講ジタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ次ニ昨年ノ豫算委員會ニ於テ述べラレタ中等學校長ノ勳任等ノコトニ付テ、ドノヤウニ進捗ヲ致シテ居ルカトノ御尋ヲ戴キマシタガ、當時當局ヨリ申上ゲマシタ如ク、文部省ト致シマシテハ中等教育ノ重要性ニ鑑ミ、校長等ニ於テハ其ノ優秀ヲ認メタモノハ勳任ノ途ヲ講ジタイと思ヒマシテ、既ニ其ノ一案ヲ得マシテゴザイマス、只今關係ノ方面ト折角折角續ケテ居リマスル次第デゴザイマス、左様ナ事情何トカ實現ヲ期シタイと思ツテ折角努力ヲ

致シテ居ル、斯様ニ御承知ヲ願ヒタウ
ゴザイマス

○内田重成君 待遇上ノ問題ニ付キマ
シテハ色々御苦心ニ相成ツテ居ル點ヲ
承ツテ満足致シマス、ドウカ速カニ其
ノ途ヲ講ジテ、極メテ廣イ範圍ニ其ノ
待遇ノ最上位ガ普遍的ニ參リマスルヤ
ウニ、願ハクバ曉天ノ晨星ノ如ク一縣
下ニ二人、三人ト云フヤウナ僅カナ者
デナイヤウニ一ツ御取扱ニナツテ、十
分ニ中等、初等ノ教育ノ方面ニ向ツテ
優秀ナ教員ヲ其處ニ凝集スル途ヲ速カ
ニ御取リ下サルコトヲ切望シテ已マナ
イノデアリマス、此ノ點ハ是デ止メマ
シテ、次ニ學徒動員ノ問題ヲ極ク簡單
ニ承リマスガ、此ノ學徒動員ニ關シマ
シテ勤勞ノ管理、健康ノ管理、風紀ノ
振肅等ノ點ニ付キマシテ、學徒ガ動員サ
レテ出勤致シテ居ル會社、工場等ノ如何
ニ依ツテ此ノ點ニ大キナ差別ガアルヤ
ウデアリマス、學徒中ノ不平モ屢、承ル
ノデアリマスガ、自分等ノ見聞スル所
モ亦各工場等ニ依ツテヒドイ違ヒガ生
ジテ居ルノデアリマス、ドウモ今日ノ
ヤウナ、是ハマア試験的ナモノカモ知
レマセヌカラ已ムヲ得ヌデアラウトモ
考ヘルノデアリマスガ、勤勞即教育、
行學一體ト云フ文部省ノ御方針ニ依ツ
テ此ノ戰時教育ヲ學徒動員ノ面ニ於テ
行ハル、ト云フコトハ、是ハ戰時教育ノ
一方便トシテ日本トシテハ劃期的ナモ
ノデアリマスルカラ、只今申シタ勤勞
管理、健康管理、風紀振肅等ニ付キ
マシテ十分ナ施設ガ出來テ居ラス、勤
勞即教育、行學一體ニハナラナイノ
デアルト云フコトヲ私ハ惧レル、
屢、學校當局ニ付キマシテモ承リ、自
分ガ方々ノ工場等ヲ歩いて見マシテ實
見スル所ニ依ルト、例ヘバ健康問題ニ

於キマシテ非常ナ差別ガアル、食事ナ
ドニ付キマシテモ非常ナ差別ガアル、
又學徒ノ風紀ノ上ニ於キマシテモ稍、
寒心スベキモノガアルノデハナイカ、
是ハ具體的事實ハ申上ゲマセヌ、此ノ
點ニ付キマシテハ當局トシテモ賢明ナ
ル方途ヲ講ゼラレル必要ガアルコトヲ
痛感スルノデアリマスガ、之ヲ詳細ニ
御尋ラスルコトハ時間ノ許サザル所デ
アリマスカラ御尋ハ、略シマスガ、今
文部當局ガ學徒動員ニ關シ、全般的ニ
勤勞管理、健康管理或ハ風紀振肅ノ問
題等ニ付テ、是ガ勤勞即教育、行學
一體ノ主義ヲ害セザルヤウニドウ云フ
風ニ監督シテ行クノデアラウコト云フ
コトヲ、如何ナル御方針ニ依ツテ各地
方當局ニ御指示ニ相成ツテ居ルカ、其
ノ點ヲ若シ御指示ガ出來ルナラバ仕合
ト存ズル次第デアリマス、而シテハ
必ズ各地方當局ノ責任ニ於テ行ハル
ルモノト思フノデアリマスルケレドモ、學
徒ヲ配置サレタル工場、會社等ガ多數
アリマスルノデ、從ツテ其處ニ出張
シテ學徒ヲ指導スル教員ガ分散シテ、
僅カナ人々ガ學徒ト起居ヲ俱ニサレ、
相當日數掛ツテ學徒ガ勤勞ニ勵ムヤウ
ニ指導シテ居リマスガ、行學ト云フ方
面ニ付キマシテハ一向其ノ氣分ガ進
デ居ラス、此ノ點ハ第一次世界大戰ノ
當時、「ドイツイ」ガ將來ノコトヲ考ヘ、學
徒ノ教育ニ付キマシテ力ヲ入レテ居ル
アノヤリ方等モ十分御參考ニナツテ色
色御指導ニナツテ居ルコトハ思フノ
デアリマスガ、問題ガ餘リ廣過ギ大キ
過ギテ御説明ガ御困難カトハ存ジマス
ガ、其ノ點ダケモ御示ヲ願ヘバ仕
合セデアルト云フ考デ御尋ヲ致シタ次
第デアリマス

○政府委員(藤野憲君) 學徒ノ勤勞動
員ニ關シマシテハ勤勞管理、健康管理、
風紀、振肅等ガ各工場等ニ依ツテ隨分
區々デアル、是ハ確カニ當局ト致シマシ
モ左様ニ考ヘテ居リマス、是ハ誠ニ遺憾ナ
現象デアリマシテ、當局トシテハ左様ナ行
届カナイ所ヲ今後十分ニ是正シテ參リタ
イト考ヘテ居リマス、而シテ是等ノ諸點
ニ關シマシテ當局トシテ只今ドウ云フ
指示ヲシテ居ルカトノ御尋デゴザイマ
スガ、是等ノ指示ニ關シマシテハ、實
ハ是ハ詳細ニ互ツテ學校側ニ於テ措
置スベキ事柄、工場、事業場側ニ於テ措
置スベキ事柄、又監督ノ立場ニアリマ
スル道府縣等ニ於テ指導上考慮ヲ廻ラ
シテ示シテ居ルノデアリマス、併シナガ
ラ御承知ノ如ク學徒勤勞ハ昨年ノ四、
五月頃カヲ急激ニ強化ヲサレマシテ、
而シテ其ノ出勤、配屬ト云フモノハ、軍
需生産ノ緊急ナル事態ニ即應スルモノ
トシテ、數次ニ互ツテ之ヲ行ツタト云
フヤウナ事情モゴザリマシテ、段々ノ
具體的ナ事情ニ於テハ甚ダ不十分ナル
モノガゴザイマス、是ハ今後十分是正
ヲシテ參リタイト思ツテ居リマス、其
ノ是正ニ付キマシテ、當局トシテハ今
回豫算ニ新ナル經費トシテ、中央並
ニ地方ニ於ケル學徒勤勞ニ關シマスル
行政ノ整備ヲ圖ルベク、機構上ニモ若
干ノ經費ヲ計上致シマシタ、地方ノ例
ヲ申上ゲマスレバ、例ヘバ事務官十二
名トカ、屬ハ全府縣ニ配當スルコト云
フヤウナ方法モ、實ハ講ジテ居ルノデア
リマス、又地方ノ行學ニ關シマスル行政
官、例ヘバ視學官デアリマスルトカ、
或ハ内政部長ノ職ニアルヤウナ人々
ヲ軍需監督官ヲ兼務セシムルノ方法ヲ
執リタイト存ジマシテ、只今手續中デゴ
ザイマス、何様其ノ人員ハ相當ノ數ニ

上リマスノデ、手續ニ若干ノ日時ヲ要
シテ居リマスルガ、是等モ近ク實現ヲ
スルモノト考ヘテ居リマス、斯様ナ方
法ヲ廻ラシマシテ、段々御注意ノ喚起
ノゴザリマシタヤウナ事項ハ、今後改
ムベキハ必ズ改メタルコト云フ方ニ向ツテ
進ンデ參リタイト思ヒマス、最後ニ前大
戰當時ニ於ケル「ドイツイ」ノ學生、生徒、
青少年等ノ教育ニ於ケル深キ慮リヲ例
ニ取ラレマシテ、當局ニ對シテノ留意
ヲ求メラレマシタ點ハ、誠ニ御同感ヲ
致スノデアリマス、當局ト致シマシテ
毛頭ゴザリマセヌノデ、何處迄モ是ハ
行學ノ立場ニ立ツテ、勤勞即教育、行
學一致ノ實ヲ收メタイ、斯様ニ考ヘテ
居リマス、現ニ具體的ニハ、或工場ノ
如キハ、能ク此ノ趣旨ヲ了得セラレマ
シテ、工場ニ於ケル實際ノ作業ノ指導
書ト云フヤウナモノハ、實ニ工場ニ於
ケル技師ト、派遣職員トノ合作ニナル
モノデアリマシテ、生産ノ現場ニ於テ
如何ニ學理ガ應用セラレテ居ルカト云
フヤウナ點モ、細々ト教科書風ニ認メ
テ、ソレヲ讀ミナガラ、又且實際ノ勤
勞ニ從事シテ、觀念的ニナラズ、又理
論ニ趨ラズ、原理、學理ト云フモノガ、
如何ニ生産ノ現場ニ於テハ應用サレテ
居ルカト云フ點ヲ、詳細ニ學徒ニ教ヘ
込ム、斯ウ云フヤウナ所モ少クハゴザ
イマセヌ、又規律、訓練ト云フ點ハ、
相當ニ派遣教職員ノ指導ノ下ニ、複雜
ナル現場ニ於キマシテモ、之ヲ實施ヲ
サレテ居リマス、今後、段々御注意
ヲ受ケマシタ點ハ、我々モ能ク同感ヲ
致スノデアリマスカラ、深ク悠久ナル
皇國ノ將來ノ發展ト云フコトニモ思ヒ
ヲ致シマシテ、出來得ル限り勤勞即教
育ノ實ヲ擧グルヤウニ努力致ス考デゴ

ザイマス
○内田重成君 此ノ法案ヲ餘リ離レテ
ノ問題デアリマスルノデ、甚ダ恐縮デ
ゴザリマスルカラ、只今承リマシタ程
度デ學徒動員ノ問題ニ付キマシテハ、
多數ノ問題ヲ包含シテ居リマスルケレ
ドモ、私ハ是デ御尋ヲ止メマス、終リ
○男爵井上清純君 只今ノ學徒動員ノ
コトニ關シマシテ、二三御尋シタイト
思ヒマス、此ノ學徒ガ非常ナ勢デ以テ、
此ノ工場ニ入ルノデゴザイマスルケレ
ドモ、工場ニ於キマシテハソレダケノ
氣持ヲ受込ンデ居ラナイヤウデアアル、
或ハ溝掃除ヲヤラシタリ雜用ニ使ツ
タリスルノデ、スツカリ氣分ヲ惡クシ
テシマフ者ガ多イヤウデアリマス、ソ
レデナクテモ今日迄ノ勞務者ノ氣分ト
云フモノハ非常ニ荒ソドモノデ、到底
今日ノ學徒ノヤウナ氣分ハ持テ得ナイ、
サウ云フ者ガ多數工場ニ居リマスカ
ラ、ソレニ入り込ミマス、ドウシテ
モ純眞ノ學徒ノ氣分ハ殺ガレテシマフ
コトハ當然デアル、ソレガ將來非常ニ
伸ビナケレバナラナイ國家ノ中堅トナ
ルベキ人達ガ、一度工場ノ中ニ入ルト
スツカリ濁汚サレテシマフ、ソレハ國
家ノ前途ニ對シテ非常ニ寒心スベキ事
柄デアリマス、今日學問ハシナケレバ
ナラス、其ノ時間ヲ割イテ工場ニ行ク
ノデアリマスカラ、工場デモ其ノ積リデ、
學校ノヤウナ氣分デ、工場長始め之ニ
向ハナケレバナラヌト思フノデス、處ガ
今日迄ノ產業者ト云フモノハ、サウ云
フ氣分ヲ持ツテ居ラナカツタ、急ニサ
ウ云フ氣分ニナラウト思ツタ、骨折ッ
テ居ルヤウデアアルケレドモ、ナカク
ナリ得ナイ、ソレハ根本的ニ世界觀ガ
違フノデアリマス、折角教員ガ附イテ
行キマシテモ、ドウモ教員ノ方ハ技術

ガアリマセヌカラ、矢張り向ウノ古イ職工ノ指導ヲ受ケタリ何カスル、矢張りイケンイ、成ルベクナラバ工場ニ入ラナイデ、學校ノ方ヘ器具ヲ取寄セテ、學校ノ教場デアル方ヲ方式ヲ採ルコトガ、餘程成績ガ學界ノデヤナイカト思ヒマス、場所ヲ名指シテ申上ゲテモ宜シイノデアリマスケレドモ、一、二サウ云フ所ガゴザイマス、非常ナ成績ヲ擧ゲテ居ル、サウシテ生徒ガ實ニ渾身ノ希望ヲ以テ其ノ仕事ニ勵ミ居ル、將來ハ學徒ノ進出ニ付キマシテ作業ノ成績ト云フモノハ、非常ナモノデアラウト思フ、其ノ大事ナ人達ヲ將來ドウ持ツテ行クカト云フコトガ、矢張り文部省トシテハ御考ヘニナラナケレバナラヌコトデアリマシテ、殊ニ學校ノ教育ヲ中途デ止メテ居ルヤウナ恰好デアリマスガ、併シナガラ國家ハ永遠ノ存在デアツテ、ドウシテモ學問ト云フモノヲ建テ置カナケレバ、前途ト云フモノハ非常ニ危險デアル、文化ヲ高メルト云フコトハ、高度國家ノ根柢デナクテハイカヌ、今時間ガ無イカラ已ムヲ得ズ其ノ方ハウツチヤラカシテアルヤウデアリマスケレドモ、根本ハ其所ニナクテハナラヌ、ソレデ青年學校ノコトニモ及ブモノデアリマスガ、青年學校ノ教育ハ、マア公立ノ方ハ現モ角トシテ、其ノ公立ト雖モドウモ形式ノ上ノ訓練ダケニ止ツテ、魂ノ教育ノ方ニハ時間ガ無イヤウデアリマス、又其ノ方ニ向ツテ適當ノ教育ハサレテ居ナイヤウデアリマス、此ノ點ニ付テドウ云フ狀態デアルカ伺ヒタイノデアリマスガ、今日ノ日本ノ青年ハ非常ナ煩悶ヲ持ツテ居ル、思想的ニ色々ノ疑問ヲ持ツテ居ル、或ハ人生觀ニ付テ、或ハ國家觀ニ付テ、或ハ宗教觀ニ付テ、色

人生ノ煩悶ヲ持ツテ居ル、其ノ煩悶ヲ解決シテ下サル所ガ何所ニモナイ、唯青年學校邊リエ行キマス、形式的ノコトバカリヲ教ハツテ居ル、ダカラ不良ノ者ハ一番敬禮ナシカガ正シイ、不良ハナカナカ利巧デアルカラ、形式的ノ敬禮デモ何デモ正シクアルバ賞メラル、ソレデ後デ舌ヲ出シテ居ルカモ知レヌ、内輪デハ非常ニ齟齬レテ居ル、サウ云フ者ニ限ツテ人ガ見ナイ時ニ勉強シナイ、サウシテ孜々トシテ本當ニ勉強シテ居ル者ハ敬禮ナシカハ拙イ、サウ云フ者ヲ賞揚シナイデ、表テニ現レタ所ノ形式ノ正シイヤウナ、要領ヲ得タヤウナ青年ヲ賞揚スルヤウナコトガアツタナラバ、根本的ニ教育ト云フモノガ崩レテシマフ、今日増産ガ擧ラナイノハ結局魂ノ教育シナイカラデアリマス、ソレデ一方此ノ魂ノ教育ニ觸レタナラバ、人間ハ十倍、二十倍ノ驚カベキ力ガ出テ來ル、其ノ點ニ付テハドウモ今日ノ文部省ノ御方針ガ何處ニ在ルノカ、チヨット私共ハ擧メ得ナイデ居ルノデアリマス、ソレデ地方ヲ歩イテ見タリナシカシマシテモ、皆青年達ハ學校カラ何物モ貰ツテ居ナイ、魂ノ何物モ貰ツテ居ラナイト云フコトヲ言ヒマス、大學ノ學生ニ付キマシテモ同様ノコトヲ言ツテ居ル、今日ノ學問ハ現在ノ國ノ動キトハ何ノ關係モナイ、日本ノ國體ガソレデ以テ分ツタカト云フコトヲ分ラナイ、人生ガ分ツタカト云ヘバ分ラナイ、宗教ト云フモノニ付テ何等ノ教育ハ施サレテ居ナイ、今大東亞ニ横ハツテ居ル三大思想ト云ヘバ、申ス迄モナク佛教ト儒教ト惟神ノ道、此ノ三ツノ問題ニ付テドウ取扱ツテ宜イカト云フヤウナコトニ付キマシテモ彼等ハ迷ツテ居ルノデアリマス、誰モ知ラナイ、教ヘテ

吳レナイ、此ノ三大思想ガ東亞ノ文化ノ根柢ニナツテ居ルノデアリマス、而モ其ノ文化ハ世界第一ノ精神文化デアツテ、今ノ戰ハ實ハ文化ト文化ノ戰ヒデアルノデアル、魂ト物トノ戰ヒデアリマス、ソレヲ物々ト云ツテ居ルカラ、物ノ大キナモノニ負ケテシマフ、ドウシテモ學校ノ教育ノ根本ハ魂ノ教育ニ置カナケレバイカスト思フ、今ノヤウナ行狀ヲ齊ヘタリ、或ハ形式ノコトバカリヲヤツテ居ルト云フコトハ、到底今日ノ事態ニ即應シナイ、ソレデ私ハ青年學校ノコトデアリマスケレドモ、ドウモ根柢ニ非常ニ大キナ問題ガ續ハツテ居ルヤウデアリマシテ、此ノ問題ニ觸レナケレバ、區々タル青年學校ノ教員ノ待遇ナント云フコトハ話ガ出來ナイ、ソレデ今日我が國ニ押寄せテ居ル所ノ問題ハ「ヨーロッパ」文明ト東洋ノ文明トノ優劣デアリマス、其ノ優劣ヲシツカリテ青年ニ教ヘタリマセヌト、矢張り向フガ先進國ダと思フ、西洋ノ方ガ文明ガ高イと思ツテ居ル、高イと思ツテ居ル間ハ到底日本ハ勝テナイ、戰爭ニ勝テナイ、大事ナ所ヲ傳ヘテ東洋ノ文明ガ非常ニ高イノデ、西洋ノ文明ハ足許ニモ及バヌヤウナモノデアルト云フヤウニシツカリテ精神文明ガ、殊ニ根柢ニナツテ物質文明ト戰ハナケレバイケナイ、其ノ精神文明ヲ失ツタ「ヨーロッパ」文明ト云フモノハ、非常ニ詰ラヌ文明デアルト云フコトヲ根柢カラ青年ニ教ヘテ行ナケレバ、本當ノ力ハ出テ來ナイ、ソレデ青年學校ニ於テハ殊ニ力ヲ注ガナケレバナラヌノデアル、今日デハ唯右向ケ左向ケデアル、サウ云フコトバカリ教ヘテ居ルモノダカラ、彼等ハ其ノ號令ニ從ツテヤリマスケレド

モ、少シモ心カラ立上ガルト云フ氣分ハ起ツテ來ナイ、今實際ハ日本人ハ本當ニ立上ツテ居ラナイ、併シ青年ハ非常ニ純真デアリマスカラ立上ガラムトシテ居ル、立上ラムトシテモ立上レナイ、ドウカシテ青年ノ純真ナ氣分ヲ立上ラセルヤウニ、一ツ導イテ戴キタイト思ヒマス、ソレガ青年學校ノ一番大事ナ所デアルト思フ、私立ノ青年學校ノコトデアリマスガ、私立ノ青年學校デ學ンデ工場ニ入りマス、今度工場ノ部長トカナントカ云フモノガ威張ツテ居リマシテ、折角外デ學ンダコトモ何モナラヌ、皆頭カラ貶シ付ケラレテシマフ、ソレデハ「カシイデヤナイ」カト云フノデ又ソコニ煩悶ヲ生ジ、勞務員ノ中ニ於テモドウシテ宜イカ分ラヌト云フコトガ増産ガ出來ナイ原因デアラウト思フ、而モ工場長ダトカ重役ダトカ云フヤウナ人ガ、依然タル昔ノ産業人デアツテ、矢張り功利主義デ固ツテ居ル人デアル、サウ云フ人ガ上ニ居ルカラ、如何ニ純真ナ青年ガ立上ラムトシテモ立上ルコトガ出來ナイ、本當ニ自分達ニ任シテ吳レタナラバ、今ノ十倍二十倍ノ生産ヲ發揮シテ上ガルト云フコトヲ言フ人ガアリマス、而モ其ノ力ヲ出スコトガ出來ナイト云フコトハ何ンタルコトデアルカ、今や國家危急存亡ノ岐レル所デアル、本當ニ今迄ノヤウナ教育デハ到底イカヌ、今迄ノヤウナ問題デモ何ンデモナイ、速カニ魂ノ教育ノ問題ニ付テ十分ナ力ヲ御注ギニナラナケレバイケナイ、殊ニ佛教ニ付テ之ヲ排撃スルヤウナコトガアツテハ大變デアル、西洋人ガ一番惡レテ居ルノハ佛教デアル、「ユダヤ」アタリガ明治維新ノ時カラ佛教ヲ成ルベク日本カ

ヲ取ラウトシテ掛ツテ來タノ今日ノヤウナ排佛ノ思想ヲ植エ付ケタ原因デアツテ、マンマト今迄思想戰デ負ケタ、日本ハ思想戰デ負ケタト云フコトヲ考ヘナケレバイケヌ、而シテ文化ノ復興、三、儒、佛、惟神ノ文化ヲ復興シナケレバ到底イカヌ、然ルニ其ノ排佛思想ノ人ガ帝國大學ノ中ニ澤山ニ居ツテ、サウシテ學問ヲ抑ヘ付ケテ居リマスカラ本當ノ日本精神ガ植エラレナイ、其ノ點ニ付キマシテ私ハ大變ナ誤リヲ持ツテ居ルモノデアルト云フコトヲ痛感スル一人デアリマス、其ノ點ニ付キマシテ甚ダ廣汎ナ、又少シ御答辯ガ困難ナヤウナ所モアルヤウデアリマスケレドモ、大體ノ所ヲ要領ダケデモ宜シウゴザイマスカラ、政府ノ意ノアル所ヲ御洩ラシ下サルコトヲ御願シマス

○政府委員(藤野野矢) 皇國ノ興廢ノ岐レル此ノ現時ニ於テ、教育ノ反省スベキ點ヲ、誠ニ高邁ナ觀點カラ段々ニ御指摘、御述ベ戴キマシタ點ハ、誠ニ私共ニ難ク拜承ヲ致シタ次第デアリマス、第一點ノ今日學徒ガ將來ヲ荷フベキ大切ナル身デアリナラバ、暫ク授業ヲ廢シテ迄工場ニ出動シテ居ル、而モ其ノ工場ノ現場ト云フモノガ甚ダ學徒ノ出動ニ相應シカラザル現狀デアル、之ニ付テ非常ニ御憂慮ヲ戴キマシタガ、此ノ點ハ私共ニ誠ニ御同感ニ存ズルノデアリマシテ、其ノ點ノ憾ミト又遺憾ノ感ヲ同ジウ致シテ居ルノデアリマス、工場ガ苟クモ教育即産業、教育即勤勞ト云フヤウナ建前カラ學徒ノ出動ヲ迎ヘマスルニハ、工場ハ單ナル生産ノ場デアツテハナラナイ、同時ニソレハ教育ノ場デモナケレバナラヌ、又訓練ノ道場デモナケレバナラヌ、是ハ全ク御同感デゴザイマス、實ハ昨年ノ

三月ニ決戦非常措置デ、學徒ノ勤勞動員ノ強化ヲ決メマスル際ニ、殆んど時ヲ同ジテ致シマシテ、御承知ヲ戴イテ居リマスル勤勞場ニ關スル要綱ト云フモノガ決定ニ相成ツテ居リマス、右要綱ニ依リマスル、一般工員ノ訓練教育ト云フコトニ一般ノ力ヲ注ギ、サウシテ工場内ニ於テモ一般工員ガ規律節制ノ下ニ、又而モ相當ノ教養ヲモ積ミナガラ學徒ト共ニ働キ得ルモノト期待シタノデアリマシタガ、實ハ其ノ方面ノ精神昂揚ニ關スル實績ハ、甚ダ以テ今日迄十分デゴザイマシタ爲ニ、學徒ハ生産ノ場デアリ、同時ニ教育ノ場デアリ工場ニ赴クコトガ出來ルト期待致シマシタガ、赴イタ現場ノ姿ハ矢張り生産ノ場ニ止マルト云フヤウナ現状デアリコトヲ誠ニ遺憾ニ存ジマス、併シ此ノ點ニ關シマシテハ關係ノ當局ニ於キマシテモ、今後工員ノ教育訓練ニ付テハ、十分力ヲ致スト云フ意向デ居ラレノデアリヤウデアリマシテ、其ノ爲ノ色色ノ施設モアルヤウデアリマス、又文部當局ト致シマシテモ、一般社會教育の立場カラ致シマシテ、工場内ノ勤勞監督ノ立場ニアル人々乃至ハ役付ノ人々、殊ニ若キ職工、工員ト云フヤウナ人々ニ對シテ、或ハ輔導學級ヲ作りマストカ、或ハ隨時ニ現場ニ派遣致シマスル教職員ト勤勞部長課長トヲ集メマシテ、鍊成等ノ方法ヲ行ヒマスルコトカ、色々方法ヲ盡シテ居ルノデアリマス、今後斯ウ云フ方面ニ向ツテハ十分力ヲ致シマシテ、御指摘ノ點ノ御心配ヲ戴クコトノナイヤウニ努メタイト考ヘテ居リマス、第二點ノ青年學校教育ニ付テ、誠ニ核心ニ觸レ又深イ所カラノ御考ヲ承リマシテ、深ク傾聴ヲ申上ゲマシタ、青年學校ノ教育ガ兎角形式ノ訓

練ニ流レテ深ク魂ノ根源ヲ培フ、深ク魂ヲ訓練スルト云フコトニ於テ缺ケテ居ルデハナイイカトノ御指摘ハ、誠ニ私共モ深ク反省シ、又將來ノ青年學校教育トシテ十分ニ力ヲ用フベキ所デアルト御同感ヲ致シマス、唯青年學校教育モ決シテ此ノ形式訓練ヲ重ンズル教育トシテヤツテ居ル譯デハナク、御承知ノ如ク青年學校ニ於キマスル修身、公民等ノ學科ニ於キマシテハ實際ノ生活ニ觸レナガラ、青年ノ人生觀ナリ國家觀ナリト云フモノヲ十分ニ涵養出來マスルヤウニ教材モ配當致シ、又深ク魂ヲ培フ意味ニ於キマシテ日本固有ノ文化、更ニハ東洋ノ文化ト云フモノガ西歐ノ文化ニ比シテ如何ナル特色ヲ持ツテ居ルカ、又如何ナル發展ヲ遂ゲ、又嘗テハ寧ロ世界ノ文化ヲ支配シタ時代デアリタコトヲ想起セシメテ、今日ノ若キ青年ガ徒ニ歐米ノ文化ニ心醉シ、過當ナル崇拜ニ陥ルト云フガ如キコトナカラシムルヤウニ努メテ居ルノデアリマス、併シナガラ何サマ御指摘ノアリマシタ工場内ニ設ケラレタ青年學校等ハ誠ニ複雑デアリ、又忙シイ現場ニ概ネ接觸スル場面ガ非常ニ強イノデアリマシテ、斯ウ云フ方面ガ兎角等閑ニナリ勝チデアルト云フコトハ、十分私共モ想像シ得ル所デアリマシテ、今後ハ斯ウ云フ點ニ特段ナカハラレ、殊ニ歴史ノ教育、或ハ國語教育等ニ於テハ、特ニ御指摘ノ點ニ留意致シテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、ソレカラ第三點ノ青年ノ心ヲ立上ラサヤウニスルニハ、ドウシテモ工場關係者ノ氣持ヲ、モウ一遍改メテ貰ハナケレバナラヌ、此ノ御指摘ハ誠ニ御尤モト存ジマス、今日ノ生産現場ニ於ケル人々、殊ニ生産責任者ヲ始メトシテ、企業ノ經營管理ニ

責任ヲ持タレル人々ノ中ニハ、立派ナ心構ヘノ人モ少クハゴザイマセヌ、同時ニ又甚ダ以テ今日ノ生産、國家ノ爲ノ企業デアリ建前ヲ十分ニ諒得ヲシナイ向モノナイトハ申セマスマイ、此ノ點モ本省ト致シマシテハ時ニ工場管理ノ責任、或ハ生産責任ヲ御持チニナツテ居ル方々ニ御會同ヲ願ヒマシテ、實ハ膝ヲ交ヘテ青年工員等ノ思想ノ指導ト云フヤウナモノニ付テ御懇談ヲ致シナガラ、同時ニ又是等ノ若キ工員ノ指導ニ當ラレマスル工場經營側ノ御心構ヘト云フモノモ、斯クアツテ欲シイモノダト云フヤウナ簡條々々ヲ掲ゲテ、實ハ御懇談ヲ致シタヤウナコトモ一再デハゴザイマセヌガ、今後ハサウ云フ方面ニ特段ナ注意ヲ致シ、更ニサウ云フ施設ニ付テモ今後推進メルヤウニ考ヘテ參リタイ、斯ウ云フヤウニ思ツテ居コトニ付テ總々御述ヲ戴キマシタガ、單リ佛教思想ノミト申シマセズ、宗教的情操ト云フコトハ國民感情ヲ淨化シテ、サウシテ眞ニ氣品ノアル良キ國民實質ノ鍊成ノ上ニ最モ肝要デアルト考ヘマヌノデ、狹隘ナ考ヘニ捉ハレズ、純眞無雜ナル而モ崇高ナル宗教的情操ノ涵養ニハ一段ノ力ヲ致スト云フ考ヘデゴザイマス、以上デ大體御了承願ヒマス

○山田三夏君 私人文部當局ニチヨツト伺ヒマスガ、一昨年來時局ニ際シテ學術ノ研究ヲ獎勵サレル爲ニ、大學ヲ卒業シタ者ノ中カラ優秀ナル者ヲ選抜サレテ特別研究生トシテ、國家ガ俸給ノヤウナ手當ヲ與ヘテ、專心研究ニ従事セシメルト云フ制度ヲ御立デニナリマシタコトハ、誠ニ學界ノ爲ニ喜ブベキコトト思ツテ居ルノデアリマスガ、ソレハ時局柄自然科學ニ關スル研究ガ大

多數デアリマシテ、人文科學ニ關スル方面ハ比較的少數デアルトハ、是ハ固ヨリ當然デアリマシテ、今御承知ノヤウニ人文科學ノ方ハ、徵兵適齡者ハ皆入營致シマスカラ、學生ガ非常ニ少クナツテ居リマス、自然科學ノ方ハ從來ノ通りデアリマスカラ、其ノ多數ノ學生ノ中カラ多數ノ者ガ現ハレテ來ルノハ固ヨリ當然デアリマスガ、併シ人文科學ニ於キマシテモ、全部ノ學生ガ居ル時ト同ジヤウニ多數ノ優秀ナ者ヲ得ルト云フコトハ困難デアリマスレドモ、尙少數ノ極メテ優秀ナ者ヲ選抜スルコトハ出來得ルノデアリマシテ、現ニ一昨年來自然科學ノ特別研究生ト同様ニ人文科學ニ於キマシテモ、法文系統ニ於キマシテハ各、十名内外程ノ者ガ選抜サレテ研究ニ從事シテ居ル次第デアリマス、然ルニドウ云フ理由デアリマスカ此ノ折角設ケラレタル特別研究生ト云フ制度ヲ、昨年ニナツテ俄カニ人文科學ノ方ニ付テハ中止サレルト云フコトニナツタト云フコトヲ伺ツテ居ルノデアリマス、又二年前ニ選抜サレタル特別研究生ガ今年ノ九月以後、前期ノ二年ヲ終ヘマシテ更ニ後期ノ三年ニ移ラムトスル時ニ、果シテ後期ニ移ルコトヲ御認メニナルカナラナイカモ只今ノ所デハ未定ノヤウニモ伺ツテ居ルノデアリマス、併シ是ハ誠ニ残念ナコトデアリマシテ、御承知ノヤウニ將來ノ優秀ナル大學教授ハ此ノ特別研究生ノ中カラ出ルヨリ外ハナイノデアリマス、此ノ以外ニ出ル途ハナイノデアリマス、自然科學デアリマシテモ人文科學デアリマシテモ、將來ノ優秀ナル教授ハ此ノ特別研究生ノ中カラ段々ト研究ヲ進メテ、助手トナリ助教トナリ遂ニ教授トナル、斯ウ云フ順序デアルノデアリマス、而シ

テ人文科學ノ方ノ大學ハドウ云フ形勢デアリカト云フト、例ヘバ東京帝國大學ニ付テ申セバ、法學部ノ如キハモウ五、六年經ツト俄カニ六、七名ノ教授ガ引退スルコトニナリマス、文學部デモ經濟學部デモサウ云フ事情ニナツテ居リマスカラ、今五、六年程經テバドカト人ガ減ツテシマフコトニナリマスガ、サウ云フ際ニ如何ニシテ優秀ナル教授ヲ補充シ又學問ノ水準ヲ高メテ行クコトヲ誰ニ負擔セシメルカト云ヘバ、今學校ヲ出マシテ特別研究生トシテ研究ニ從事シテ居ル者ノ中カラ出ル外ハナイノデアリマス、之ヲ止メテシマフト云フコトハ、恰モ學問進步ノ命ヲ斷ツヤウナモノデアリマス、且戰爭ガ何時迄續クカ分リマセヌガ、サウ急ニ終了スルト云フコトモ考ヘラレヌトナリマス、今ノヤウナ狀態デ、戰時中ハ人文科學ノ方ニ付テハ特別研究生迄モ認メナイ、認メテモ入營延期ト云フコトハシナイ、斯ウ云フ風ニナツテ行キマスト、私人人文科學ニ關スル學問ガ非常ニ一時穴ノアイタヤウナ、補充シ得ベカラザル缺陷ガ出テ來ルコトヲ慮レルノデアリマス、御承知ノヤウニ優秀ナル研究者ハ百人ノ學生ノ中ニ一人カ、千人ノ中ニ一人位シカ出ナイノデアリマス、サウ云フ者ガ出タ時ニ國家ガ之ヲ保護シ、獎勵シテ、他日ニ備ヘシメルト云フコトヲ努メテ行カケレバナラヌノデアリマスガ、ソレヲ今ノヤウナ風ニナツテ居リマス、人文科學ニ付テハ其ノ根本ノ源ガ涸レシマヒマシテ、ドウスルコトモ出來ナイト云フ狀態ニナルコトヲ非常ニ慮レルノデアリマス、政府ノ一部分ニ於キマシテハ、今勝ツカ負ケルカノ戰爭ノ際ニ、自然科學ノヤウニ飛行機ヲ造ルトカ

火藥ヲ造ルト云フ方ハ續ケテ研究シテ
宜イガ、人文科學ノ如キハドウモ宜
イ、今ナクテモサウ急ヲ要スルモノデ
ナカラウト云フ御考ガアルカモ分リマ
セヌガ、是ハ私ハ非常ニ御再考願ハナ
ケレバナラヌ考デアルト思フノデアリ
マス、御承知ノヤウニ自然科學ト人文
科學トハ、大別ハ致シテ居リマスケレ
ドモ、齊シク科學デアリマス、人文科
學ト自然科學ト何處デ分レルカ、分ラ
ナイヤウニナツテ居ルノガ、今日ノ科
學ノ研究ノ狀態デアリマス、又一見戰
争ニ關係ノナイヤウニ思ハレマス心理
學トカ、音樂デアルトカ云フヤウナモ
ノモ、直チニ戰爭ノ用ニ立ツテ行キマ
スコトハ、飛行機ノ音ヲ聽クトカ、或
ハ又成層圏ニ於キマシテ飛行スル時ニ
心理狀態ガドウナルカト云フコトニ付
テノ對策ハ、サウ云フ學問カラモ出テ
來ルノデアリマシテ、戰爭ニ無關係ノ
學問ト云フコトハナイ管デアリマス、
今日ハ直接カ間接ニ總テノ學問ガ皆戰
争ニ役立ツテ居ルノデアリマス、又戰
争ハ永久デハアリマセヌノデ、戰爭ガ
濟ミマシタ時ハ、戰後ノ總テノ内外ノ
關係ガ起ツテ來マスガ、是等ニ付キマ
シテハ今カラ大イニ研究シマセヌト、
折角陸海軍ガ赫々タル戰果ヲ收メラレ
マシテモ、其ノ戰果ヲ十分ニ國家隆興
ノ爲ニ利用出來ナイト云フ處ガ出テ來
ルノデアリマス、一例ヲ申シマスレバ
敵米英ニ於キマシテハ、戰爭ガ濟ンダ
時ニ世界ノ通貨、貨幣ヲドウスベキカ
ト云フコトニ付キマシテ、各、米國ハ
米國ノ自分ノ立場カラ一ツノ案ヲ出シ
テ居リマス、英國ハ英國ノ立場カラ一
ツノ案ヲ出シテ居リマス、我が大東亞
諸國ニ於キマシテハ日本ノ將來ノ爲ニ
最モ適スル世界ノ通貨ハ何デアルカト

云フコトハ、今カラ一所懸命ニ研究シ
テ追付カヌ位デアリマス、況シテ大東
亞共榮圈ニ於ケル通貨ダケニ付テモ
ドウシテ宜シイカ、現在ノ圓ト儲備券
トノ「バー」デ行ハレテ居ルト云フ支那
ノ狀況ダケ見マシテモ、是ハ理想的デ
ナク、完全ナモノデナイト云フコトハ
何人モ疑フベカラザル所デアリマス、如
何ニシテサウ云フ通貨ト云フコトヲ最
モ適正化スルカト云フコトニ付キマシ
テモ、忙シイ大藏當局ノ人バカリガ考
ヘテ居ル譯デハゴザイマセヌデ、人文科
學ニ屬スル者ガ一所懸命ニ努力ヲシテ國
家ニ貢獻スベキ政策ヲ考ヘテ居ルノ
デアリマス、現ニ文部省ニ於キマシテモ、
ソコニ鑑ミラレマシタカ、一昨年來學
術研究會議ニ於キマシテハ自然科學ノ
外ニ人文科學ト云フモノヲ加ヘラレマ
シ、現ニ私モ其ノ一部門ノ研究ノ主任
ヲ委託セラレテ居リマス、法律トカ政
治トカ云フ方面ニ付キマシテハ、其ノ
多クノ研究者ト共ニソレヲ指導シテ居
ル次第デアリマス、ソレカラ見マシテ
モ人文科學ハ一々戰爭ト離レ難イモノ
ガアリマス、ソレヲ一所懸命ニヤツテ
居リマシテモ、マダ追付カヌノデアリ
マス、是ハ現ニ活動シテ居ルモノノコ
トデアリマスガ、一步先ヲ考ヘテ見マ
シテモ、今申シマシタヤウニ、數年ノ
先ニハサウ云フ人間ヲ補充スル途モ杜
絶シテ居ルト云フコトデハ誠ニ心細イ
次第デアリマス、是ハ國家ト致シマシ
テ實ニ忽セニ出來ナイコトデアリマス、
畏イコトデアリマスガ、明治大帝ハ明
治三十七年ニ帝國大學ニ行幸ニナラレ
マシテ、戰時ト雖モ教育ハ忽セニスベ
カラズ、諸員努力奮勵セヨト云フ御沙
汰ヲ賜ツタコトガアリマスガ、今日ノ
戰時ニ際シマシテ、學徒ハ出陣シ、或

ハ勤勞ニ挺身シテ居リマス、殘ツテ居
ル所ノ教授、殘ツテ居ル所ノ學生ハ一
所懸命ニナツテ、此ノ際知識ニ依ツテ
國家ニ貢獻スベキコトヲヤツテ居リマ
ス、此ノ點ニ付キマシテハ自然科學ノ
ミガ必要デアツテ、人文科學ノ方ハ先
ヅ暫ク措イテ宜イト云フコトハ決シテ
出テ來ナイ管デアリマス、然ルニドウ
モ當局ニ於キマシテハ、學術研究會議
ニ於テハ人文科學ノ必要ナコトヲ認メ
ラレマシテ、既ニ其ノ研究ヲ開始セラ
レテ居ルノニ拘ラズ、將來學問ノ命ヲ繫
グベキ唯一ノ源泉デアル特別研究生ト
云フモノハ、人文科學ニ於テハ廢メテ
シマフ、或ハ廢メムトスルト云フコト
ハ、是ハ誠ニ以テ學術研究會議ニ對ス
ル態度ト一致セザルモノデアリマス、
私ハ實ニ理解ニ苦シム所デアリマス、
此ノ點ニ付キマシテ文部當局ハドウ云
フ風ニ御考ニナツテ居ラレマスガ、承
リタイト思ヒマス

○政府委員(藤野喜孝) 只今山田委員
ヨリ文科系ノ特別研究生ガコ、兩年以
來中止ニナツテ居ルコトデ、當局ノ考
ヲ質スト云フ意味合ニ於テ續々御述ニ
ナリマシタ、仰セノ通り學術ト云フモ
ノガ自然科學ノミデ發達ヲ期スルコト
ノ出來ナイモノデアル、自然、人文兩
方面ノ學問ガ發達スルコトニ於テ初メ
テ學ノ進歩ガアリ、又人文科學ト云ヒ
自然科學ト申シマシテモ、其ノ限界ト
云フモノハ殆ド之ヲ捕捉スルコトノ出
來ナイ程今日デハ掘下ガラレテ居ルコ
トモ誠ニ御指摘ノ通りデアルト考ヘテ
居リマス、本省ト致シマシテハ只今御
述ノゴザイマシタヤウニ、學術ノ振興
ノ爲ニハ自然、人文兩方面ニ互リ、振
興發達ヲ期セバナラヌト云フ考ノ下
ニ御引例ノアリマシタ、例トシテ御述

ノゴザイマシタ學術研究會議ハ勿論、
或ハ諸學ノ振興ヲ圖ル施設ノ上ニ於テ
モ、或ハ其ノ他民間有力ノ團體ノ學術
振興ニ付テノ設備ニ付キマシテモ、何
レモ殆ド例外ナク人文、自然兩方面ニ
互リマスル學術ノ振興ヲ獎勵モ致シ、
又努力モ致シテ參ツテ居ルノデアリマ
ス、是アルガ故ニ實ハ特別研究生ノ制
度ヲ設ケマスルニシマシテモ、兩方面ノ
特別研究生ヲソレハ設ケタノデゴザ
イマシタガ、戰局ノ推移ニ依リマシテ、
遺憾ナガラ只今デハ山田先生御指摘ノ
如クニ、人文科學方面ノ特別研究生ハ
一應之ヲ取止メルト云フコトニ相成ツ
テ居ルノデアリマス、此ノ點ハ私共モ
山田先生ノ御述ト同様ニ、實ハ非常ニ
遺憾ト致シテ居リマス、唯併シ此ノ點
ハ實ハ入當延期ノ制ヲ認メラレルト云
フコトト關聯ヲ致シマスル譯デゴザイ
マシテ、文部當局ノミニ於テ之ヲドウ
スウト申上ゲル譯ニモ參リマセヌ、御
趣旨ハ正ニ深く御同感ヲ致シテ居ルノ
デアリマス、御指摘ノ點ニ付キマシテ
ハ、今後本省ト致シマシテモ、出來得
ル限り文科系ノ方面ノ少數ノ者デアッ
テモ、特別研究生ヲ設ケルト云フコト
ニ付テ努力ヲ拂ツテ參リタイト斯ウ考
ヘテ居リマス、左様御了承願ヒマス
○山田三良君 只今ノ御説明デ一應ハ
了解ヲ致シマシタガ、併シ文部省ノ當
局ノミデ決定モ出來難イコトガアルト
云フコトハ、是モ御尤モデアリマスガ、
ドウカ是ハ政府ニ於ケラレマシテ是非
ノヤウナ片手落ニナツテ居リマス所、
殊ニ學術ノ進歩ヲ非常ニ一時妨ゲスル
ト云フヤウナ、之ヲ見ナガラ其ノ儘ニ
シテ置クト云フコトハ、是ハ文部當局
ト致シマシテモ、私ハ文教ニ御熱心ナ
ル限りニ於テハ、此ノ現狀ニ於テ、サ
ウ云フ今ノヤウナ事情ノ下ニ、今ノヤ
ウナ形デ看過セラレルト云フコトハ、
是ハ有リ得ベカラザルコトデアルト思
ハレマス、學問ノ爲ノミナラズ、戰爭
其ノモノノ爲ニモサウ是非アリタイト
思ヒマスカラ、關係ノ當局方ト能ク御
熱議下サイマシテ、是非其ノ御趣意ヲ
御完遂下サルヤウニ御願シタイト思ヒ
マス

○委員長(伯壽山本清君) 御質問ハゴ
ザイマセヌカ
○建部逕吾君 私ハ極ク單純ナ一ノ
點ニ付テ質問ノヤウナコトヲ述ベテ御
説明願ツテ見タイト思フノデアリマス、
沿革ト云フモノハ容易ニ離レニキイモ
ノデアリマスガ故ニ、今急遽ニ國民學
校ト並ニ問題トナツテ居リマス……
○委員長(伯壽山本清君) 建部委員ニ
申上ゲマスガ、モウ少シ大キイ聲デオ
ツシヤツテ戴キタイ、コチラヘオイデ
ヲ願ヒマス
○建部逕吾君 青年學校ト云フモノヲ
同ジク一ツノ校長ノ統括ノ下ニ置クト
云フコトモ、別段慌テテ之ヲ離シテ各、
獨立ノ學校ニ致シテ置キタイト云フ所
迄急グニモ及ブマイト思ハレマスガ、
此ノ青年學校ト國民學校ト相對シテ、
各、其ノ特色ヲ發揮スルト云フゴトハ、
申ス迄モナク是ハ發達ノ運命ノ上ニ於
テハ、サウアル方ガ宜イニ相違ナイノ
デアラウカト考ヘマス、唯國民學校ト
云フ名前ガ表シマスマスヤウニ、國民學校
其ノモノハ少年ヲ相手ニスル、尤モ近
頃少年ト云フモノハ國民學校ノ學齡ニ
達シタモノノ一番若イ二學年ノ者ニ名
附ケテ言フベク、第二學年カラ先ハ青
年ト言フテモ良イト云フヤウニ言葉ヲ用
ヒテ居ル教育者モアルヤウデアリマス、
左様ナコトニ付キマシテハ、尙又研究

スル心持ガアツテモ差支ハアリマセヌ
ガ、國民學校ハ要スルニ總體ガ一筋ノ
モノデアルト見テ差支ナク、之ニ反シ
テ青年學校ノ方ニナリマス、申スハ
甚ダ平地ニ波瀾ヲ起ス憂ガアリマス
モ知レマセヌ、其ノ間ニソレハ、
專門學校ガ現モ角出テ參ルト云フコト
ハ避ケ難イ所デアラウト思ハレマス、
我が日本ノ教育機關ノ發達ノ經歷ニ付
テテヨット回顧シテ見マシテモ、明治
維新カラシテ、次第ニ各種學校ガソレ
ゾレ發生シ、又發達シテ參リマシタ其
ノ經歷ニ於キマシテ、青年ヲ相手トシ
テ其ノ自ラ伸ビテ行カウ、自ラ實現シ
テ行カウト云フ主眼ト、國ガソレ等ノ
設備ヲ提供シテ其ノ主眼ヲ全ウセシム
ルト云フコトヲ計畫致シマシタモノハ、
是モ必要デアル、アレモ必要デアルト云
フコト様々出來テ來タヤウニ、私共
ハ何等ノ局ニ當ツタコトハアリマセヌ
ガ、年少ノ時代カラ貧弱ナル專門ノ範
圍ノ中ニ於テ、稍、若干興味ヲ持ツ
之ヲ眺メタコトヲ聊カ記憶ヲシ、又聊
カ思ヒ出スヤウナ次第デアリマス、例
ヘバ三府五港ト云フコトガ能ク言ハレ
マシタ、三府ハ東京、京都、大阪、五
港ハ横濱、神戸、長崎、函館、新潟、
斯ウ云フヤウナ所ガ我國ノ維新以後比
較的早イ時ノ要所々々デアリマシテ、
是ダケノ開港ノ土地、若シハ其ノ限
リノ中デ若干ハ又ハ他日ニ繰リテモ
宜イト云フヤウナ譯デ、八若シハ七、
偶ニハ又六デ満足ヲスルト云フヤウナ
コトデ、次第々々ニ各種ノ中等程度ノ
專門學校ガ生レテ參ツタコトデアツタ
カノヤウニ記憶サレルノデアリマス、
多クノモノハ皆明治十年西南戰爭ニ至
ル前ノ發生ニ屬スルト云フヤウナ次第
デ、學校ノ種類ヲ申シマスルト、外國

語學校、是デ東京ノ中央ニ於テ各種ノ
外國語、語學、文學ヲ通シテ之ヲ自分
ノモノニスル、ソレヲ一ツノ目安トシ
テ期待スルコトデアツタモノニ相違ナ
イ様子ナンデアリマス、地方ニ依リマ
シテハ、英語ダケヲ之ニ設置スルト云
フ譯ノモノデアツタノガ少クナカツタ
ヤウカト記憶スルノデアリマス、師範
校ト云フモノニ付キマシテハ、師範校
ニハ當然男子師範校並ニ女子師範校ガ
アリマスガ、男子ノ方ハ特ニ名前ヲ附
ケルニハ及バヌ、又唯師範校ト云ヘバ
男子師範學校、女子ノ方ハ女子師範學
校斯ウ云フヤウニ申ス、ソレカラ之ニ
付テ段々當局ガ研究工夫サレマシタ、
最モ適切ニ各ノ主眼、各ノ目的ニ向ツ
テ進ンデ行クニ都合ガ好ク、又能率ガ
學ガルト云フコトノ爲ト云フ所カラ割
出シタ時代ガ、確カ明治十四年ノ頃、
時期ガ到來シタカト思ヒマス、福岡文
部卿ノ時代ニ於テ、小學校ヲ、其ノ前
ハ下等小學八級四箇年、上等小學六級
三箇年、前後ヲ通ジテ十四級七箇年ト
云フモノデアリマシタノガ、初等小學
六學級、マア學期ト申シテモ宜シイ、
其ノ學級ノ層ノヤウナ風ニ申シマスレ
バ六學期三箇年、中等小學ガ同ジク六
學級三箇年、高等小學ガ四學級二箇年、
前後ヲ通ジテ十六學級八箇年、斯ウ云
フヤウナコトニナリマス、茲ニ師範
學校デ養成サレタル人材モ、資格ト云
フモノニ付テハ、其ノ資格ガ或者ハ初
等小學ノ訓導トシテノ資格ヲ公認サレ、
或者ハ更ニ中等小學ノ訓導ノ資格ヲ公
認サレ、更ニ進ンデ、或者ハ高等小學
ノ訓導タルノ資格ヲ公認サレル、其ノ
初等小學ト云フ方ハ、所謂初等ト云フ
言葉ガ、一般ノ教育其ノモノニ對シテ
ノ或方面カラ見テノ初等デアルノミナ

ラズ、之ヲ養成スル爲ニ、特ニ初等小
學科ト云フモノヲ師範學校ニ置クニモ
及ブマイト云フ譯デ、是ハ後デ斯ウ云
フモノヲ置クニシテモ、差當リハ其ノ方
ハサウ急イデ置クニ及ブマイ、ソレデ
多クノ師範學校ニ於テハ、師範中等科
並ニ師範高等科ト云フ二種ノ男子ニ付
テハ置クト云フコトニナリ、大體ソレデ
満足ヲシタト云フヤウナ狀態デアリマ
ス、謂ヘバ發生並ニ發達ニ付テハ、是デ
一通リ出來タ、斯ウ云フヤウニナツテ
居ル、ソレカラ又、其處ニ今度、先刻來
又先日來本委員會ニ於テ屢、御質問ニナ
ラレタ所デアリマスガ、科學ト云フモノ
重キヲ置クト云フ方面ニ付テハ、
殊ニ此ノ點ハ、新潟ノ如キハ、其
ノ文化ノ發達ガ天下ニ率先シテ進
ンデ居ツタ所デアリマセヌケレ
ドモ、地形ノ關係ヤ、又其ノ土地ノ
任務トデモ申スベキ其ノ關係ノ上カラ
行キマシテ、夙ニ百工化學ト云フモノ
ガ設置サレテ居ツタノデアリマス、先
ヅハ、程度ハ中等程度ノモノニ相違
ナイ、今日ノ專門教育ト云フ迄ニ行キ
マセヌ、精々中等教育程度ノモノデシタ
ガ、又其ノ中ニハ非常ニ秀才モ居リマ
シテ、其ノ爲ス所、造詣スル所、是ガ
ウント先キヘ進ンデ居リ、其ノ方ノ專
門ノ教師並ニ專門ノ知識等ヲ持ツテ居
ル人ヲシテ舌ヲ卷カシメ、又其ノ專門
教師ノ下ニ居ツテ、今日ノ一般的ナ言
葉ヲ若シ當嵌メルコトヲ許サレマスナ
ラバ、助手ニ當ルヤウナ人ノ如キハ夙
ニ舌ヲ卷イテシマフト云フヤウナ秀才
ガ居ツタ、明治十一年ニ明治天皇ガ特
ニ鶴ヲ西ノ方ヨリ北ノ方ニ進マセセラ
レ、遂ニ新潟ニ成ラセセラレマシテ、更
ニ今少シ北ノ方、ニ成ラセセラレマシテ新
發田カラハ更ニ別ノ道ヲ御取り遊バサ

レマシタガ、其ノ行幸ノ際ニ、御前講
演ヲ申上ゲタ秀才ガ現ニ居ツタノデア
リマス、サウ云フコトヲ申上ゲルノハ、
私ノ話ノ中ニ強ヒテ入レルノハ、敢テ
其ノ意義ヲ散漫ニスルト云フコトニナ
リマスガ、現ニサウ云フコトガアリマ
シタ、家學、家ノ學問トモ申スベキ秀
才ノ父君ハ漢學ノ造詣者デアツテ、中
年カラ國學ノ方ニ轉ジテ、漢學一本筋
ヲ以テシテハ十分ニソレヲ以テ獨立ノ
完全ナル學問トハ出來ナイ、敢テ漢學
ヲ輕蔑スル譯デハナイガ、是カラハ是
非共漢學ト國學ト更ニ洋學ヲ若干加ヘ、
三ツヲ一ツノ學問ニシテ行カナケレバ
ナラヌト云フ、ハ……
○委員長(伯島山本清君) チョット建
部委員ニ御注意申上ゲマスガ、成ルベク
御意見ヲ簡潔ニ……
○建部逕啓君 是ハ私ノ意見デアアリ
マセヌガ、サウ云フ一方ニ漢學ノ精神
ダケヲ持ツテ居ル、傾向ヲ持ツテ居ル
者ノ息子が百工化學ト云フノヤリマ
シテ、サウシテ更ニ、右ノヤウナ化學所
謂「ケミストリー」ノ專門家、今度ハ東京カ
ラ聘セラレテ參リマシタ專門先生ガ、
此ノ人ガ舌ヲ卷イタ、東京ノ、近頃デ
ハ皆高等師範ト云ツテ居リマスガ、ソ
レノ前身デアリマシタ所ノ東京師範學
校、之ノ教授、今日ノ言葉デ申セバ教
授ニ該當スル、ソレガ來テ教育啓蒙ノ事
ニ任ジテ大イニ功績ヲ擧ゲタノデアリ
マス、陛下ニモ大層其ノ御前講演ニ
御満足デアラセラレタト云フコトヲ時
ノ當局者ガ皆之ヲ書留メテ居ツタ次第
デアリマス、然ルニ右ノ師範學校其ノ
モノモ大層複雑ニナリ、斯ウ云フヤウ
ニ幾多ノ芽生ヘガアツテ、ソレガ各、ニ
發生シ發達シマシタノガ綜合的ニナツ
テ來ルト云フ其ノ時期ガ自然ニ又必然

ニ到著シマシタノガ明治十九年頃デア
ツタラウト思ハレマス、明治十九年ノ
改革ハ各府縣ニ尋常師範學校ト云フモ
ノヲ置クコトニナリマシタ、其ノ尋常
師範學校ガ出來ル前ニ、然ラバ右ノ三
種、男子女子方一種ツ、ニ數ヘマスレ
バ四種、ソレガドウ云フ風ニナツテ居
ツタカト申シマス、之ヲ一ツニ纏メ
マシテ新潟學校ト申シマシタ、全體
デ新潟學校デ其各學部ハ百工化學部、
師範學部、女子師範學部、中學部ノ四
ツノ學部デ、アリマス、外國語學校ト
云フノハ外國語學部トカ英語學部トカ
申シマセヌデ、ソレガ丁度中學部ニナ
リマス、其ノ頃ハ百工化學部ハ夙ニ廢
止ノ運命ヲ荷ウテ居リマシタ、ソレガ
濟ムト完全ナル獨立充實セル師範學部
ト云フモノ、即チ尋常師範學校ト云フ
モノヲ是非共創立シナケレバナラヌ氣
運ニ進ンデ參リマシタ時ニ、種々ノ財
政經濟ノ方面カラ影響モアリマシテ、
英氣勃々タル縣會議員ノ諸君ノ如キハ
此ノ際新潟學校ヲ新潟尋常師範學校
ニ換ヘ改メ、改メテソレヲ完全ニ發
達セシメナケレバナラヌト云フコトヲ
力強ク論ジマシテ、ソレガ一般ニ認メ
ラレ、格別ノ面倒ガナク進ンデ行ツタ
次第デアリマス、其ノ沿革ヲ見マスト
之ハ中等學校デ、サウシテ中等程度ノ
一種ノ大學、大學ト云フト大ハ品質ノ
上ニ俾イモノノヤウニ考ヘテモ一向差
支ナイモノデアリマス、併シ此處デハ
其ノ品質ノ方ト云フコトヨリハ程度
ノ方デ、大ハ大、中ハ中、綜合大學ト
云フコトハ近頃皆言フ品質ノ大デナク
此處ニハソレヲ程度ノ意味ニ於テノ綜
合大學デハナイ、若シ敢テ申シマスレ
バハ綜合中學、ガ出來タト云フ所
迄進ミマシタモノノ中デ、師範教育

ハ最モ大切デアルト云フ、其ノ方向、
内容ニ向ウテ進ンデ行ツタト云フ
實狀デアツタ譯デアリマス、
ソレデ本委員會ニ於テモ誠ニ卓拔ナル
御批評御批判等モ、毎日一ツヤ二ツノ
御意見ヲ承リマシテ、私共大イニ益スル
所モアツタ次第デアリマスガ、其ノ生
徒ノ方カラ見テ行キマスモ國民學校、
元ハ長イ間小學校、又小學生ト云フヤ
ウニ申シマシタガ、其ノ方ハ單純ナル
一筋道ヲ行ク、其ノ間ニ、固ヨリ個性
ト云フモノハ言フ迄モナク教育上ニハ
自ラ出テモ行キマスガ、是ハ要スルニ
色々出テモ行キマスガ、是ハ要スルニ
所謂中學大學ト云フノ程度ノ問題ト
スルト云フ用ヒ方ヤツタ場合ニ於テ、
國民學校、曾テハ小學校ト申シマシタ
ノトハ餘程趣キノ違ツテ居ル點ハ、即
チ此ノ頃御意見或ハ御質問等ニ於テ何
ヒマシタ其ノ事柄デ、最早小學校教育、
國民教育ト云フモノニ於テナルヤウニ
サヘナラヌト云フヤウナ所迄モ極メテ
平凡化スル、平凡化シマシテモ、其ノ
生徒ノ各、ニハ個性ガアリ、苟モ教育
者ガ相當ナ教育者デアレバ、ソレガ單
ニナルヤウニサヘナルト云フコトノミ
デハアリマセヌ、其ノ家庭ノ狀況や其
ノ町村ノ狀況や、又其ノ者ノ個人トシ
テノ經歷ヲ一日一ト或ハ一年一年ト
作ツテ行キマシテ、其ノ如何ニ依ツテ
種々ノ人物ガ出來テ行クト云フコトニ
ハ相違アリマセヌガ、要スルニソレガ
一ツノ重大ナル理想ヲ貯ヘテ、其ノ理
想ノ政治、理想ノ經濟、理想ノ道德、
之ヲ要スルニ理想ノ人格ト云フモノニ
向ツテ勇往邁進スベキコトガ教育トシ
テ大切デアルト云フ所迄ハ、國民教育
ニ於テハ先ヅ何ヲ指イテモ人並ミノモ
ノニシテ置イテ、サウシテソレガソレ

ゾレ世ノ中ニ出ル時分ニ餘リ間違ツタコ
トヲセヌヤウニト云フコトガ國民教育
ト云フモノニ於テハ期待サレル、先ヅ
ザツト是ガ關ノ山ニナツテ居ツタ思
ウテ宜イカノヤウニ私ハ思フノデアリ
マス、然ルニ青年教育、青年教育ト云
フノハ、國民教育ノ今日ノ初等科六年
高等科二年、八箇年ト云フコトデ青年
ノ時期迄ハ隨分入ルニハ入ルノデアリ
マスガ、ナカノ、青年教育ト申シテ居
リマスノハ、極ク一口ニ言ヘバ、徴兵検査
迄ノ所ヲ教育シテ行カナケレバナラナ
イ、進ンデ幾多ノ抱負ヲ持ツテヤルノデア
リマスカラ、ドウシテモ青年教育ガ少ク
トモ程度ノ高イ者ニナラザルヲ得ナイ、
又此ノ程度ノ高イト云フコトガ認メラ
レテ行クカラニハ、茲ニ相當ノ抱負、
任務、運命、意氣、努力、是等ガ伴ウ
テ行クト云フコトハ、是ハ當然過ギル
程當然ノコトデアルト思フノデアリマ
ス、然ルニ其ノ青年教育ニ於テ、例
バ一番眼ニ付クノハ人格教育ノコトデ
アラウト思ヒマス、殊ニ近頃今迄ノ何デ
モ彼デモ西洋ノ眞似サヘスレバソレデ
宜イト申シテ眞似シテヤツテ居ツタコ
トニ付テ、教育者自ラニ於テモ是デハ
ナラヌ、殊ニ其ノ方面ノ目ニ付クコト
ハ何デアアルカト云フト、所謂國體教育
ノ點デアリマス、國體ト云フ方面ノミ
ニ付テハマルデ西洋ニモ言葉ガアリマ
セヌ、マア是モ言葉ト云フモノニ付テ
ハ様々ノ言葉ヲ以テ言ウテ見タクテ堪
ラナイ學者モナイコトハナイノデアリ
マスガ、ソレガ碌ニ實現致シマセヌデ、
其ノ問題ニ携ツテ居ル間ニ泰然トシテ
老ノ至ルヲ忘ルト云フ狀態格別ノコ
トガナイノミナラズ、第十九世紀ノ終
リ頃ニ於テハマルデ支離滅裂ノ狀態ニ
ナル、サウ云フ教育界ヲ持ツテ居ルダケ

ノ國又ハ國民ト云フモノハ段々ノ片
端カラ出テ來テ、ソシテ出タ上デハ潰レ
テシマフト云フヤウナ狀態ガ誠ニ氣ノ
毒千萬デアリマスルガ、往々出テ來
ルト云フヤウナ狀態デアツタノデアリ
マス、我ガ國ノ過去ニ付テ顧ミマスル
ト云フト……
○委員長(伯壽山本清君) チヨツト建
部委員ニ御尋ネ致シマスガ、マダ餘程
長ク掛リマセウカ
○建部逕書君 モウ直キ終リマス
○委員長(伯壽山本清君) モウ時間ガ
過ギマス、缺員ノ方ガ大分見居マス
カラ、人ノ數ノ關係デ……
○建部逕書君 ソレハ……御迷惑ヲ掛
ケマセヌヤウニ氣ヲ付ケマス、幕末ニ
於テ、内ニアツテハ所謂松下村塾、又
極メテ塾ト云フコトデナクトモ、個人
ガ志ヲ立テテ誠ニ誠々たる個性ヲ出シ
テ居リマスガ、越前ノ橋本左内ノ啓發
録、斯ウ云フヤウナ方面ニ志ノアル
者ヲシテ志ヲ遂ゲシメ、又志ノナイ者
ハ眞ニ教育ヲシイ教育ヲ施シテヤルト
云フ點ニ付テ考ヘテ行キ、又實現ヲシ
テ行クト云フコトハ、苟モ國民教育ト
云フモノヲ若シ平タク扱ヘバ平凡教育、
平凡デカラ惡イト云フノデアリマセ
ヌ、平凡迄行ケバ寧ろ結構、或程度迄
行ケバ結構ナンデアリマスガ、サウ云
フ方面ニ付テ折角出來ツ、アル此ノ新
シイ大キナ制度、而モソレニ經濟上ノ
經費ノ支出ト云フコトガ、特殊ノ事情
ノ範圍ニ於テハ申セ、今回ノ法律案
ノ問題ニナツテ來ルノデアリマスル以
上、ソレニ注意ガ向ケラレルカラニハ、
茲ニ國民、國ト云フモノノ將來ノ發展
ニ對シテ、是非共一大貢獻ヲセナケレバ
ナラヌ、モトノ、教育ト云フモノハ、
其ノ儘ニ野放シニ捨テテ置イテ宜イナ

ラバ、要ラナイノデアアル、教育ト云フ
モノハ現ニ角ヨリヨクト云フコトニ向
ツテノ介添役ニ教育者ト云フモノヲ養
成シテヤツテ行カナケレバナラヌ、就
中教育者ノ養成ト云フモノハ、師範教育
ニ於テ殊ニ顯著デナケレバナラヌノデ
アリマスルノ、折角斯ウ云フ機會ニ於
テソコ迄目ヲ付ケテ行カヌト云フコト
ナラバ、師範ナント云フ偉イ文字ハ止メ
タガ宜イ、セメテ模範ナラバマダ宜シ
イ、師範ノ師ナント云フモノヲ擧ゲテ、
僭越千萬ナル學校ノ種類ヲソコヘ立テ
ルナント云フコトハ、全體本來、チト
出過ギタ沙汰デアルト私ハ敢テ言ヒタ
イノデアリマス、是ハ併シ意見ニナル
ノデアリマシテ、現ニ角斯ウ云フヤウ
ナ方面ニハ、立法者ト云フ者ハ聊カ考
ヘマスノデ、無暗ニ急激ニヤル必要モ
アリマセヌガ、進ンデ行カナケレバナ
ラヌモノデアルト云フ點ニ、自ラ足ラ
ナサヲ感ズルモノデアアル、斯ウ云フ點
ハ一體如何ナモノデアリマセウカ之ヲ
質問ト云フ中ニ入レマスニハ、右様ニ
申スコトガ穩當ト考ヘテ居リマス、
ソレカラ又一體云ヒマス、倫理ナン
ト云フ事柄ガ誠ニ安ッポイモノニナツ
テ居マス、之ニハ所謂東洋デ、東洋ト
云ヒマスガ、我ガ國ニ於テモ、儒教儒
教ト云ヒマシテ、儒教ノ者ニ云ハセ
レバ、儒教サヘアレバ何モ要ラナイ、
サウ云ツテ大平樂ヲ決メ込メ満足ヲ
シテ居ル、ソレハ結構ナンデアリマス、
サウ云フ人ノ數ガ殖エル方ガ、ソレ迄
ニモ行カナイヤウナ者ガ殖エルヨリモ
ソレハ結構ナンデアリマスガ、實際少
シ吟味シテ見マスト云フト、隨分心細
イ儒教ガ多イデアリマス、西洋デ云
ヒマスルト、日本ニ佛教ガアリマスル
ヤウニ、西洋ニハ「キリスト」教ガアル、

之ガ頗ル心細イモノナンデアリマシテ、
殊ニ第十九世紀ノ終ニハ「ヨーロッパ」
デハ或意味ニ於テ世ノ中ガ飽滿ノ狀態
ニアリマス、飽滿ノ狀態ニナリマス
ト云フト、思想界ガ誠ニ沈鬱ノ狀態ニナ
ル、サウシテ其ノ中ニ於テノ活動ヲヤ
ツテ行カウト云フ連中ノ爲ス所ガ、殆
ド實際ドレダケノモノニ利イテ來ル
カ、斯ウ云フ所カラ第十九世紀ト云フ
コトニ拘泥シテ彼此批評スルニハ決シ
テ當ラヌコトデアリマスルケレドモ、
殊ニ物量、物ノ分量ガ大イニ發達スル
ト同時ニ、所謂大分ヤカマシイ風潮ガ
盛ンニ出テ來ルヤウニナラウト思フ、
ソレデ、此ノヤウナコトヲ見マスと云
フト、ソレニ多少又因ンダ現象モナイ
デハナイノデアリマシテ、倫理、道德
ト云フコトハ極メテ大切千萬ナルコト
デアラウト思ヒマスルノ、其ノ倫理、
道德ト云フモノノ基礎ニナルモノハ何
デアアルカ、其ノ基礎ニナルモノハ哲
ガ基礎ニナツテ居ル、此ノ哲學ト云フ
モノガ一體チヨツト妙ナモノナンデシ
テ、是ハマア餘リ諄イ話ニナリマスガ
ラ簡單ニチヨツト觸レテ置クニ止メマ
スガ、哲學ト云フモノノ發達ヤ變遷ノ
形式、是ハ誠ニスツキリシタモノデア
ルト見ルト、甚ダ違フ經歷ヲ取ツテ
來ルト云フトハ甚ダ違フ、一ツノ目ニ付
易イコトハ、チヨツト哲學ト云フモノ
ハ紙屑ノヤウナモノデアリマシテ、紙
屑デカラ或部分ガ是ハ間違ツテ居ル、
是ハ何トカ少シ直シタ方ガ宜イトカ、
モウ哲學者ガ一人出ルゴトニ新シイ哲
學ト云フモノガ出來マシテ、其ノ哲學
ト云フモノヲ、御弟子サンノ又英才ノ
人ガ出マスと云フト、此ノ哲學說ハド
ウモ宜クナイ、無論基礎カラ決メテ行
クモノニハ相違ナイノデアリマスケレ

ドモ、其ノ基礎其ノモノニ付テ拔差ヲ始メルノデアリマス、例ヘバ「カント」ノ後ニ「ヘーゲル」が出タ、「ヘーゲル」が出テ何トカ云ヒ出ス、尤モ「ヘーゲル」ハ非汎ナ人間デアリマシテ、御案内ノ通りニ十六歳カラ二十一歳ニ至ル迄五箇年「イェナ」大學ニ居ツタ、此ノ五箇年ニ於テ大學ハ教師ノ講義或ハ圖書館ノ典籍、ソレ等デ以テ學術トシテ各、一個ノ部門ヲ形造ツテ居ルモノガ一方ニ於テハ理想論デアリ、一方ニ於テハソレガ實現論デアルト云フコトデアリ限リ論ガナイ、何デモ一通リ眼ニ寫シ心ニ印シタ其ノ限ヤ心デ「カント」ヲ見ルト、誠ニ先輩ハアルケレドモ、食ヒ足リヌコト山々ト云フ感ジガ出ルノハ當リ前ナ話デアリマス、當リ前ノ年少氣銳ノ學生デアリ、「イェナ」大學ノ秀才ト名ヲ擧ゲタ此ノ人ガ十六歳カラ二十一歳迄ノ激烈氣銳ノ盛リノ時ニ一生懸命勉強シタ結果サウ云フコトニナルノハ當リ前デス、新潟ニ於ケル某秀才ドコロノ話デヤニコトニナル、サウシテ「カント」ノ學說ガソレデ訂正サレタ、サウスルト「カント」ハ一部分ハ少クトモ紙屑ニナツテ、切ツテ捨テタイモノト云フコトニナリマス、一寸言葉ガ強過ギマスケレドモ紙屑ノヤウナモノニナリマス、ソレデ一個ノ完全ナル個體デアリマス所ノ特定ノ人格ト云フモノニ對シテ、其ノ類型ノ其ノ人格トノ理想、理想ノ完璧ト云フモノガ此處ニ出來タト思ツタガ、實ハ出來ナイデシマウタト云フコトニナル、スルト今度ハ西洋ヲ相手ニ或特定ノ國ヲ使ツテ、特定ノ理想學ヲヤツテ行ク、其ノ中ニ勝手ナル倫理學修身說モ雜ツテ見エマス、物ニ於テモソレニ類スルコトガ著タトシテ見エマス、殊ニ一方、成立

宗教ト云フモノニナルト、成立其ノモノノ爲ニハ誘惑的ノ結構ナモノガ必ズ伴フモノデアリマスカラ、其ノ誘惑的ナモノガアル爲ニ、人氣ト云フモノト共ニ一弛一張セナケレバナラヌ、其ノ人氣ト云フモノニ付テハ、是ハナカノ機關モ大キイモノデアリマシテ、又サウ云フ事柄ニ付テハ奇妙ナ事務員低級ナルガ、幾ラデモ集ツテ來ルモノデアリマスカラ、成立宗教ニハ誠ニ飛ソデモナイ危險ガ伴フ、斯ウ云フコトニモナツテ來ルノデアリマシテ、哲學ガ一方ニ於テ兎角微妙ナル運命ニ見舞ハルベキ氣ノ毒ナル狀態ニアリ易イト共ニ、一方宗教、又宗教デナイト云フコトヲ言フノハ一寸骨ガ折レルヤウナ懸念ガ他ノ方面ニモアル次第デアリマシテ、ソレ等ヲ以テ一國ヲ經緯シ、青年教育ト云フモノノ骨子ニシテ行カウトスル、サウナルト更ニ容易ナラヌコトニナル、ソレデ茲ニ國民學校ノ教育者ヲ養成スル師範教育ニセヨ、殊ニ青年學校ノ教育者ヲ養成スル爲ノ、折角直轄學校ニ迄昇格シタ其ノ師範教育ニ致シマシテモ、是等ノ點ヲ目安シテ二三別ノ紙屑袋ヲ集メテ、ソレカラ拔キ出シ、ソレカラ講義ノ「ノート」ヲ拵ヘテ、ソレデ教ヘルナンソト云フコト行クベキモノデナイ、丁度青年ト云フ激烈タル時代ニ於テ國家ノ爲ニ大イニヤツテ行カウト云フ青年ニシテ、若シ意氣ノアル者デアリ、志ノアル者デアルトシマスルナラバ、是等ニ對シテ何等カノ教育ヲシイ教育ヲ施スソト云フコトガ出來ナカウタト云フヤウナコトデ、直轄學校ヲ一ツ、國民教育師範學校ト云フモノト相並シテ特ニ拵ヘテ行ツテ、サウシテ相當ノ經濟的資金等ノ供給迄モ國デ以テヤツテ行カウト云フノハ聊カ惜

シイヤウナ氣ガスル人モアリハセヌカト思ハレル次第デアリマス、是等ノ點ニ付テ何トカモツト一ツ進ソデ、斯ウ云フヤウナ國家重大ノ時期ニ際シテ、教育上ノ一大改革、一大改正デアルト思ハレマスガ、其ノ點ノ考慮ガ如何アルモノデアラウカ、如何アルカト云フコトヲ御示願フコトハ光榮ノ至リデアリマスガ、若シ如何アルベキト御考ニナル點ノ一端ヲ御示願フコトガ出來レバ私ニ取ツテハ非常ニ幸福デアルト云フヤウナ氣ガスルト云フコトニ、一寸思ヒ至ラザルヲ得ナカウタノデアリマス、マア是ハ銘々ノ趣味ヤ、好キデ本ヲ讀ムノデアリマスガ、ソレデ西洋ナドヲ見ルト呆レ果テタ淺薄ナモノガ澤山アルノデアリマス、ソレデサウ云フノヲチョツト二年バカリ海外留學ト云フコト行ツテ來テ、歸朝シテ來テ講義ヲスル、專門學校教育ノ教師トシテ、殊ニ擱ヘドコロノ支離滅裂ト薄紙一枚ヲ隔テタイ、大變ナ扱ヒニクイ無形學デ實教ヲ擧ゲヨウトハ、實以テ容易ナ事デナイ、キツイ所ノ科學デアレバ、是ハサウ云フ弊害ニ流レルト云フコトハナササウデアリマスガ、此ノ無形ノ方ハ餘程目ヲ光ラシテ、教育行政當局ノ方々ハシツカリ統率シテ下サラヌト、同ジヤウナモノトシテ同ジヤウナ祿ヲ食ソデ居ル者ガ大分様々ニナリハセヌカト云フヤウナコトモアリハセヌカト云フ種子モアリマス、其ノ外ズツト輕イ事柄ニ付テ、尙一、二ノ點ハ、餘リ目出度ナイコトトシテ念頭ニ浮ンダコトモアリマス、ソレハ私ノ陋巷ヅクメノ、郷里ノ町村生活ニ於テ若干、身ヲ以テ體驗シタコトデアリマスガ、是ハ國民教育ノ師範學校卒業者ニハ相違アリマセヌガ、併シソレガマ

ダ專門學校ドコロデハナイ、從來ノ即チ明治十九年ニ成立ラシテ二十年ノ四月一日カラ開校シタ新潟縣尋常師範學校、其ノ後、縣ト云フ字ト、尋常ト云フ字ノ三字ガ消サレマシテ、新潟師範學校、高田師範學校、長岡女子師範學校ト云フヤウナ名前デ縣下ニ三ツアルノ過ギナイ、私ノ郷里ノ農村ノ國民學校ニ青年學校ハ附設デアリマシテ、青年教育ヲヤツテハ居リマシタガ、ソレガ國民學校ノ中ニ居候ヲシテ居ルダケ、此ノ居候ノ首席訓導デアアル人ガ、經歷カラ言ウテモ相當有爲ノ士デアツタノデ、校長ハ校長デ國民教育ノ方ノ國民學校ノ校長ヲシテ居リマシタ所ヘ、一方青年教育ノ方ニハ居候ノ中ノ人々ノ信頼カラ經歷カラ相當立派ナモノヲ持ツテ居リマシタノガ、チヨツト兩立スルニ苦シムト云フヤウナコトデ、本年ノ三月三十一日迄勤續シテ呉レバ誠ニ青年連モ……

○委員長(伯歸山本清君) チヨツト申上ゲマスガ、文部省ノ政府委員ガ何カ外ニ呼バレテ居ラレルサウデゴザイマスカラ……

○建部逕吾君 モウ直グ終リマス、ソレデ其ノ間ニ任期ノ問題ガアリマシテ、其ノ青年學校カラ居ナクナルト云フヤウナコトモアリマシテ、一方ニ於テ極ク些々タルコトデハアリマスガ、居候ノヤウナコトニ付テハ又行政上ノ行政的ト云フ方ガ宜イデセウガ——問題トシテハ、チヨツトバカリ考慮スルコトガ、蓋シ文部ノ高位高官ノ方デアリマスト若干アリ得ルト云フヤウナコトデモアルカモ知レマセヌ、若シアリマシタラ御聽カセテ願フコトニナレバ、尙更光榮デアリマス、併シ是ハ前ニ申シマシタコトヨリハ輕イコトデア

リマスカラ、唯一言御教ヲ乞フニ止マルノデアリマス、以上思ヒノ外長談義ニナリマシテ、甚ダ相濟ミマセヌデシタ、茲デ私ノ質問ト云フ程デモアリマセヌガ、マア所感退リノ、右ノ如キ、假ニ質問ト云フコトニ御許ガ願ヘレバ質問ト云フコトニシテ、サウシテ一二ノ點ニ觸レテ御聽カセテ願ヘレバ大變結構ダト思ヒマス

○政府委員(藤野惠君) 只今教育、宗教、哲學方面ニ互リマシテ誠ニ該博ナル御所見ヲ拜承致シマシテ、十分了承致シマシタ、教育ノ將來ノ改革ト云フコトハ、是ハ極メテ重要デアリ、各般ノ事項トモ關聯ヲ致シマスノデ、斯ウ云フ點ニ付テハ十分注意致シマシテ將來ノ研究ニ資シタイト存ジテ居リマス

○委員長(伯歸山本清君) 大體御質問モ終ツタヤウデゴザイマスカラ、午前は是デ休憩致シマシテ、午後一時半カラ開會致シマス

午後零時二十三分休憩

午後一時三十六分開會

○委員長(伯歸山本清君) ソレデハ午前に引續イテ會議ヲ開キマス、大體御質問モ終ツタヤウニ思ハレマスガ、如何デゴザイマスガ、全部ヲ通ジテ尙何カ殘ツテ居ル御質問ガアレバ此ノ際御願ヒシタイト思ヒマス……別ニゴザイマセヌケレバ、是ニテ質問ハ全部終了シタモノト認メテ討論ニ入りタイト思ヒマスガ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯歸山本清君) ソレデハ最初ニ兵役法中改正法律案、之ヲ議題ト致シマス、討論ニ入りマス、御發言ヲ願ヒマス

○子爵立花權忠君 簡單ニ自分ノ意見

ヲ述ベマスルガ、無論兵役法ノ改正ニ付キマシテハ何等異議ノアル所デハアリマセズ、賛成ヲ致スモノデアマリ、但シ此ノ兵役法ノ改正ト云フモノハ、最近昭和十二年頃カラノ調ベニ依リマシテモ、本年迄約七年間ニ殆ド連年改正案ガ提出サレテ居ルノデアリマス、昭和十五年ダケハアリマセズ、十二年十八年ニハ臨時議會ガアリマシタノデアリマスガ、此ノ時モ各一回ツ、矢張り提出サレテ居ルノデアリマシテ、今回ノ改正案ト共ニ之ヲ合計致シマスルト、七年間ニ九回モ提出セラレタト云フヤウニ私ハ存ジテ居リマス、勿論支那事變ガ勃發シ、引續キ大東亞戰爭ト云フ古今未會有ノ此ノ大戰爭ガ起ツタノデアリマスカラ、其ノ推移ガ激甚ナルニ從ツテ、斯ウ云フ改正モ度々起ルノハ蓋シ已ムヲ得ナイモノト存ジマスルケレドモ、併シナガラ苟クモ改正案ヲ帝國議會ニ御提出ニナルニハ、モウ少シ大局ニ眼ヲ注ガレテ事ヲ處セラレタラバ、斯ウ小刻ミニ七年間ニ九回モ改正案ヲ出サナクモ濟ムノデヤナイカト云フ風ニモ思ツテ居リマス、其ノ點ハソレノ當局ノ御苦心ノ存スル所ハ拜察ハ致シマスルケレドモ、餘リ改正案其ノモノガ小刻ミニ出ルコトハドウカト思ハレルヤウナ氣ガ致シマスノデゴザイマスノデ、將來ニ於テハサウ云フ點ニ付テ、モウ少シ御注意ヲ戴イタラドウカト云フコトヲ要望シタイト存ジマス、此ノ簡單ナル意見ヲ述ベマシテ、私ハ本案ニ賛成ヲ致ス者デアリマス、終リ

○山田三良君 私モ此ノ兵役法中改正法律案其ノモノニハ、可決ニ賛成ヲ致ス者デアリマスガ、併シ此ノ際ニ私ノ希望意見ヲ、附加ヘサシテ戴クコトニ

致シタイト思ヒマス、ソレハ左ノ通りデアリマシテ、「政府ハ人文科學ニ關シテモ自然科學ト同様ニ特別研究ヲ入營延期制度ヲ認メラレムコトヲ希望ス、此ノ希望意見ヲ附シマシテ、本案ニ賛成致シマス」

○委員長(伯山本清君) 他ニ御發言ガナケレバ採決ヲ致シマス、政府ノ原案通りデ御異議ガゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯山本清君) 御異議ナイト認メマス、兵役法中改正法律案ハ可決セラレマシタ、次ハ陸軍軍法會議法中改正法律案並ニ海軍軍法會議法中改正法律案ノ二法案ヲ議題ト致シマス、討論ニ入りマス

○男爵上清總君 私ハ此ノ法案ニ付キマシテハ賛成ヲ表スルモノデアリマスガ、此ノ思想ト云フモノハ非常ニ重大ナルモノデアリマシテ、軍隊内ニ若シモ惡思想ガ入ッテ來ルヤウナコトガアツテハ、現下殊ニ戒慎ヲ要スルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ唯處罰主義デナクシテ、誘導主義デナケレバイカスト思ヒマス、矢張り教ヘテ啓イテ行カケレバナラヌノデアリマスガ、サウ云フ途ニ付テドウモ缺ケテ居ルヤウナ憂ヒガアルヤウニ思ヒマス、將來ハ積極的ニ誘導ヲシテ行クコトヲ方針ヲ御執リニナラムコトヲ希望シテ、此ノ改正法案ニ賛成ヲ表スルモノデアリマス

○中川達君 私モ此ノ際希望ノ一端ヲ申述ベテ本案ニ賛成ノ意ヲ表シタイト存ジマス、實疑ノ折ニ申述ベマシタ如ク、又只今井上委員ノ御話ノ如ク、思想問題ガ戰爭中最モ憂慮スベキモノデアリコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、思想問題ノ中、殊ニ軍隊ニ取リマシテ最モ戒心スベキハ赤化思想デア

ト存ジマス、政府委員ノ御説明ニ依リマスレバ、從來ノ取扱例ニ於テ、此ノ種事件ニ付テハ特ニ取立テテ言フ程ノコトモナイ、意ヲ安ジテ可ナリト云フコトデアリマシテ、誠ニ結構ナコトト存ジマスケレドモ、他面仔細ニ赤化運動最近ノ動向ヲ窺ヒマスレバ、決シテ晏如タルヲ許サザルモノアリト思考致サレマス、茲ニ一例ヲ所謂中共即チ中國共產黨ニ採ツテ見マスルニ、中共ハ御承知ノ如ク「ソ」聯並ニ米國ヲ背景トシテ、近時頗ル勢力ヲ増大シテ、重慶ヲ壓迫シテ居リマス、又一面廣ク民心ノ收攬ニ努メ、其ノ勢力侮ルベカラザルモノデアリマス、而シテ帝國ニ對シテハ絕對總反抗ヲ稱ヘ、我ニ對シテ「ゲリ」ヲ戰フ繼續スルノミナラズ、赤化運動ニ努力シツ、アルノデアリマス、關係當局ノ御説明ニ依リマシテモ、延安ニ於ケル日本人解放聯盟ノ活動ガ何ヲ爲シツ、アルカ、又中共ノ行方支日本人、特ニ軍隊ニ對スル宣傳ノ如何ニ執拗ニシテ且巧妙デアルカヲ觀、又赤化運動ノ爲ニ設ケラレタル彼等ノ學校ニ於ケル生徒數並ニ其ノ種別等ヲ觀ルニ於テハ誠ニ寒心ニ堪ヘザル所デアリマシテ、彼等ノ現行ヒツ、アル思想戰ノ如何ニ熾烈デアルカ、且或程度ノ成果ヲ擧ゲツ、アルコトハ看過スルコトヲ許サズ、極メテ戒心スベキモノト申サネバナリマセズ、殊ニ注意ヲ要シマスルノハ彼等ノ赤化運動ノ手段ガ常ニ變化シツ、アルコトデアリマシテ、殆ド端倪スベカラザルモノデアリマス、御承知ノ如ク赤化運動ニ當ル者ハ概シテ極メテ明敏ナル頭腦ヲ有スル輩デアリマス、從ツテ此ノ種思想戰ノ防衛ニ當ツテハ深キ専門的知識ト鋭キ鑑識トヲ有スル組織體ガ不斷ノ注意ヲ拂フコ

トガ極メテ必要デアルト存ジマス、殊ニ今日ノ軍隊ハ平時ト異ツテ軍人軍屬ノ數ハ極メテ多數デアリマシテ、ソレダケ危險性ガ多イト見ネバナラナイト思ハレマス、軍法務當局ニ於ケレマシテハ、固ヨリ現ニ此ノ邊ノ御用意アル趣デアリマスガ、事ノ重要サニ深ク考慮ヲ廻ラサレテ、檢察、審理、並ニ事前ノ防衛ニ此ノ上トモ其ノ準備ヲ強化セラレ、十全ノ效果ヲ擧ゲテ萬一ノ悔ヲ貽スコトナカラシムルヤウ、切ニ御配慮ヲ願フ次第デゴザイマス、本案ニハ此ノ希望ヲ申述ベマシテ、賛成ノ意ヲ表シマス

○委員長(伯山本清君) 他ニ御發言ガナケレバ採決ニ入りマス、二法案トモ政府ノ原案通りデ御異議ガゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯山本清君) 御異議ナイト認メマス、次ハ現役青年學校職員俸給費國庫補助法案之ヲ議題ト致シマス、討論ニ入りマス

○内田重成君 私ハ本案ニ付キマシテ賛成スルモノデアリマス、但シ政府ハ本會議ニ現レマシタ各面ノ質問應答ノ詳細ニ互リマシテ速記録ニ依リマシテ更ニ御檢討ヲ戴キ、サウシテ各委員ノ陳述致シテアリマス其ノ趣旨ニ付キマシテ、政府ノ御答辯ニ相成ツタ點ノ將來ニ對スル研究、實行ハ勿論各委員陳述ノ趣旨ヲ十分ニ御斟酌ノ上ニ、速カニ採ルベキモノハ御採上ゲニナツテ研究シテ戴キタイ、而シテ實行シテ戴キタイ、斯ウ云フ希望ヲ申述ベルモノデアリマス、就中目下ノ最大ノ關心ハ學徒動員ノ問題デアラウト私ハ考ヘルノデアリマス、此ノヤリ方如何ガ將來ニ影響スル所ノモノハ頗ル多大デア

ル、終リ

勤勞即教育、行學一體ノ主義ヲ如何ニ實踐スベキカト云フ教育方法ニ至ツテハ、實ハ漠然トシテハツキリシテ居ラヌト思ハレルノデアル、速カニ此ノ行學一體ニ關スル教育方法ヲ確立シテ、日本教學ノ基礎ヲ樹立スベキ最モ緊要ナル時機デアルト考ヘルノデアルカラ、唯單純ニ產業ノ手傳ヲスルト云フダケノ見地デ學徒工場勞動者ニシ切ツテシマフト云フヤウナコトデハ、將來ニ由タシキ禍根ヲ貽スモノデアルト考ヘテ居ルノデアル、此ノ點ニ付キマシテハ先程質問ノ際ニモ申述ベテ置キマシタガ、勤勞管理、健康管理、風紀振肅等ノ諸問題ヲ始めト致シマシテ、學徒ノ動員ニ對シテ賢明ナル對策ヲ速カニ講ゼラレムコトヲ切ニ望ンデ已マナイモノデアリマス、此ノ希望ヲ申述ベマシテ、本案ニ賛成スルモノデアリマス、終リ

○子爵立花種忠君 私モ本案ニ付テ賛成スルモノデアリマスガ、一、二自分ノ希望ヲ申述ベテ置キタイト思ヒマス、先日內田委員カラノ御質疑ニ對シテ當局カラ細々、御説明ガアリマシタガ、ソレニ依リマシテモ此ノ教職員ノ待遇ト云フコトニ付テハ異常ノ努力ヲ拂ハレテ居ルト云フコトハ、ハツキキ分ルノデアリマシテ、私共モ誠ニ満足スル所デアリマス、從ツテ將來立派ナル教職員ヲ得ラレ、之ニ關聯シテ立派ナル青年ガ育成、養成サレテ此ノ重大時局下ニ國家ヲ背負ツテ起ツダケノ立派ナ者ガ出來ルトハ存ジマスルガ、唯私ガ茲ニモウツ申シテ置キタイコトハ、所謂氣魄ノ足リナイ所ノ青年ハ何萬人出來テモ役ニ立タナイ、先程井上男爵モ魂ノ教育ト云フコトヲ言ハレマシタガ、其ノ通りデアリマシテ、從ツ

テ

テ其ノ氣魄ノ存スル所ノ青年ヲ拵ヘルニハ、之ヲ指導育成スル所ノ教職員其ノモノニ氣魄ガ足りナケレバ立派ナ青年ハ作り得ナイト信ズルノデアリマス、此ノ氣魄ニ十分充タ所ノ青年ガ出來マシタナラバ、如何ナル難局モ突破シ得ルノデアリマスガ、若シモ然ラズンバ國家ノ將來ト云フコトヲ心配シナケレバナラヌノデアラウト存ジマス、故ニ此ノ教職員即チ校長ヲ始メ指導者ト云フモノニ付テハ、嚴タル國家觀念ヲ持ツコト、旺盛ナル氣魄ヲ藏スルト云フコトガ最も必要デアリマスノデ、斯ウ云フモノヲ此ノ指導教育ニ當ラセルヤウニ、文教當局トシテハ、特ニ御留意ニ相成リタイト存ズルノデアリマス、尙青年師範學校ノ獨立及同校ノ内容充實ト云フコトハ是非常ニ大切ナコトデアリマスルノデ、是等ノ三點ニ付キマシテハ文教當局トシテ特ニ御留意ガアツテ、御努力アラムコトヲ切望スルト云フコトヲ申上ゲテ、本案ニ贊成ヲ致ス次第デアリマス、以上

○委員長(伯爵山本清君) 他ニ御發言ガナケレバ採決ヲ致シマス、本法案ハ原案通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵山本清君) 御異議ナイト認メマス、仍テ兵役法中改正法律案、陸軍軍法會議法中改正法律案、海軍軍法會議法中改正法律案、現役青年學校職員俸給費國庫補助法案、此ノ四法案トモ政府ノ原案通り可決スベキモノト決定ヲ致シマシタ、是ニテ委員會ヲ終了致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後一時五十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵山本 清君
副委員長 男爵淺田 良逸君
委員

侯爵淺野 長武君
子爵立花 種忠君
山田 三良君
內田 重成君
建部 遯吾君
男爵井上 清純君
中川 望君
上野喜左衛門君

政府委員

陸軍政務次官 子爵大島陸太郎君
陸軍法務中將 大山 文雄君
陸軍少將 那須 義雄君
海軍政務次官 岸田 正記君
海軍參與官 中野 敏雄君
海軍少將 矢牧 章君
海軍法務少將 島田 清君
文部政務次官 今井 健彦君
文部次官 藤野 惠君
文部參與官 子爵三島 通陽君
文部省總務局長 永井 浩君
文部省專門教育局長 關口 勳君
文部省國民教育局長 阿原 謙藏君
文部書記官 伊藤日出登君

昭和二十年一月二十七日印刷

昭和二十年一月二十七日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局